

2023年3月期 決算説明会



2023年5月22日
株式会社 小森コーポレーション

1. 2023年3月期の業績および次期計画

取締役管理本部長 橋本 巖

2. 経営概況

代表取締役社長 持田 訓

3. 長期ビジョン KOMORI 2030

代表取締役社長 持田 訓

2023年3月期の業績および次期計画



2023年 5月22日

株式会社 小森コーポレーション

目次

P.5~ 7	決算概要 P/L・B/S・C/F
P.8	売上高・損益の推移
P.9~12	地域別・品目別 受注高
P.13~16	地域別・品目別 売上高
P.17	受注残高の推移
P.18	製品在庫の推移
P.19	営業損益の変動要因
P.20~25	業績見通し
P.26	設備投資・減価償却費・開発費
P.27~36	地域別 受注高・売上高 詳細

決算概要 P/L

(単位:億円)

		当期実績 2023/3	前期実績 2022/3	差額	前期比	通期計画 2023/3	差額	計画比
受注高		974	976	△2	100%	1,006	△32	97%
売上高		979	876	103	112%	980	△1	100%
営業利益		57	23	35	252%	44	13	130%
経常利益		66	34	32	194%	54	12	122%
親会社株主に帰属する 当期純利益		57	62	△4	93%	42	15	136%
平均レート(円)	US\$	134.95	112.86	/		134.17	/	
	EUR	141.24	131.01			137.04		
期末レート(円)	US\$	133.53	122.39			135.00		
	EUR	145.72	136.70			135.00		

主な資産・負債

(単位:億円)

	当期末 2023.3.31	前期末 2022.3.31	差額
短期金融資産	634	639	△6
売上債権	196	174	23
棚卸資産	374	324	50
うち製品	164	135	29
有形固定資産	180	170	11
無形固定資産	33	39	△7
その他資産	238	225	13
資産合計	1,655	1,571	84
仕入債務	208	158	50
短期借入金	4	9	△5
社債	100	100	0
長期借入金	2	4	△1
その他負債	269	267	3
負債合計	584	537	47
純資産	1,071	1,034	38
負債・純資産合計	1,655	1,571	84

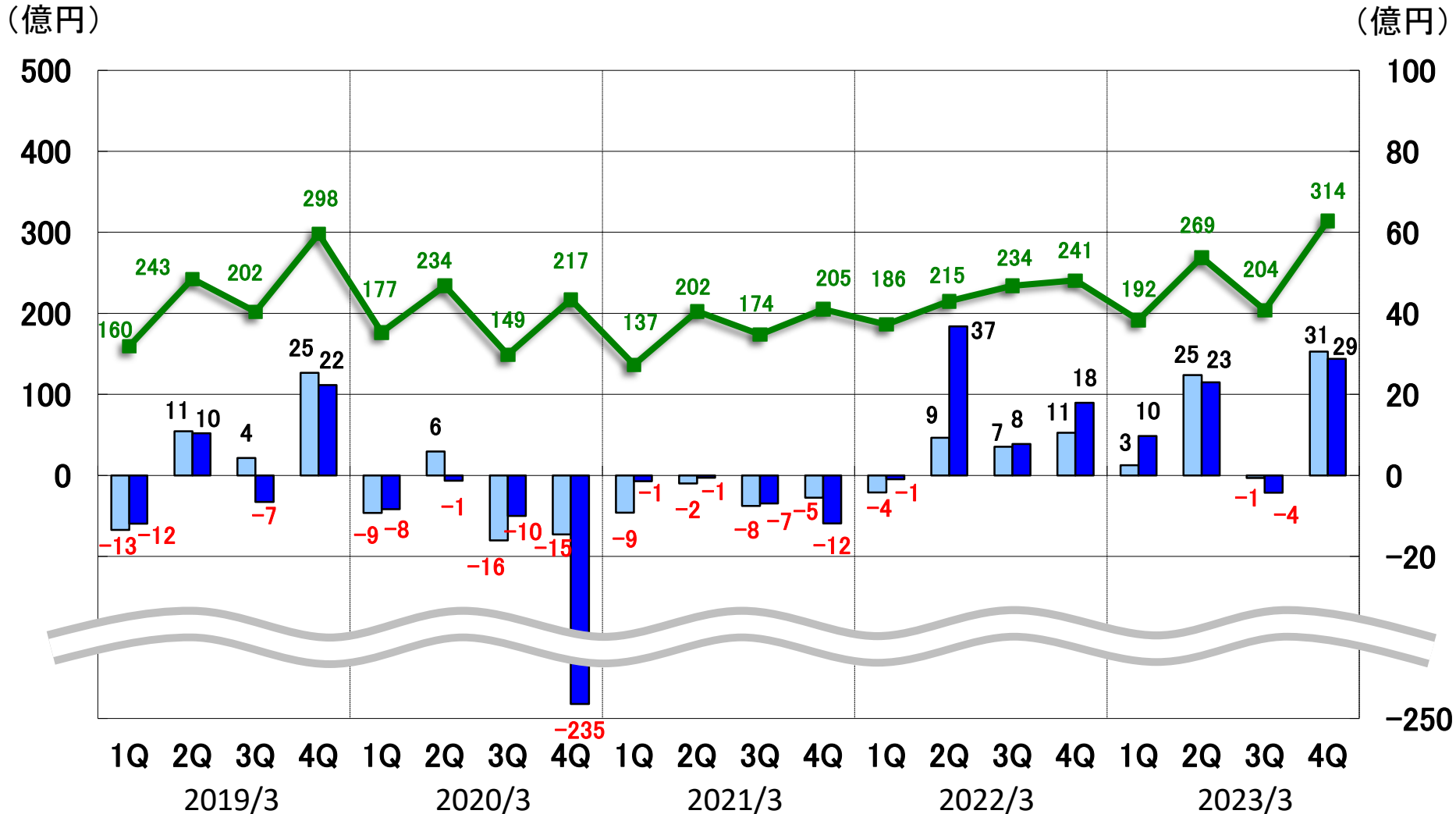
キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	当期 2023/3	前期 2022/3	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	45	93	△48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5	△ 14	9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 41	△ 29	△11
現金及び現金同等物の期末残高	609	603	6

売上高・損益の推移

■ 売上高(左目盛)
 ■ 営業利益(右目盛)
 ■ 親会社株主に帰属する四半期純利益(右目盛)



地域別受注高

(単位: 億円)

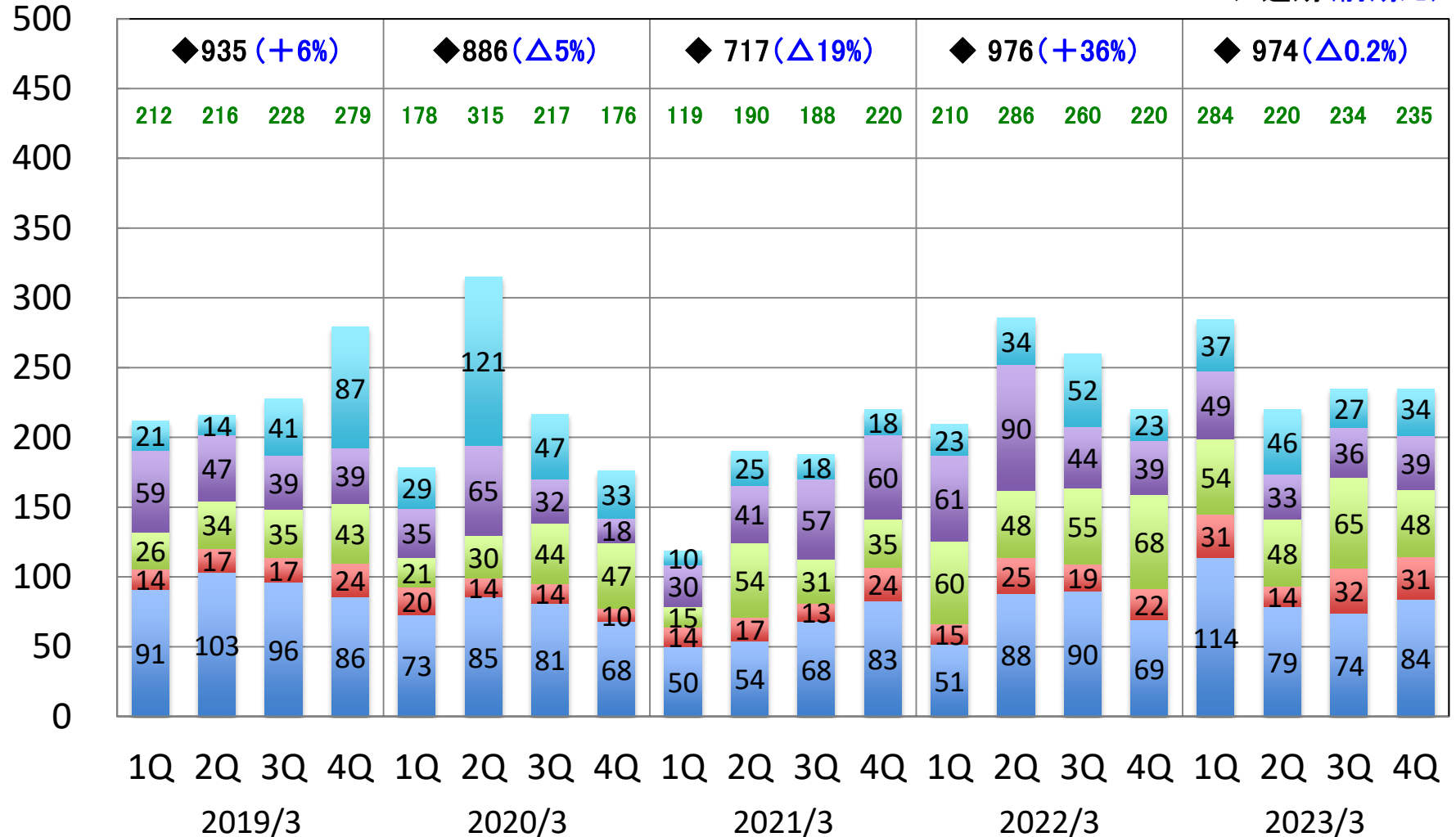
	当期実績 2023/3	前期実績 2022/3	前期比	通期計画 2023/3	計画比
日 本	350	299	117%	318	110%
北 米	108	82	133%	92	117%
(百万ドル)	(80)	(72)	(111%)	(69)	(117%)
欧 州	216	230	94%	187	115%
(百万ユーロ)	(153)	(176)	(87%)	(137)	(112%)
中 華 圏	155	234	66%	183	85%
そ の 他 地 域	144	131	110%	225	64%
合 計	974	976	100%	1,006	97%

地域別受注高

■ 日本 ■ 北米 ■ 欧州 ■ 中華圏 ■ その他地域

(億円)

◆ 通期(前期比)



品目別受注高

(単位：億円)

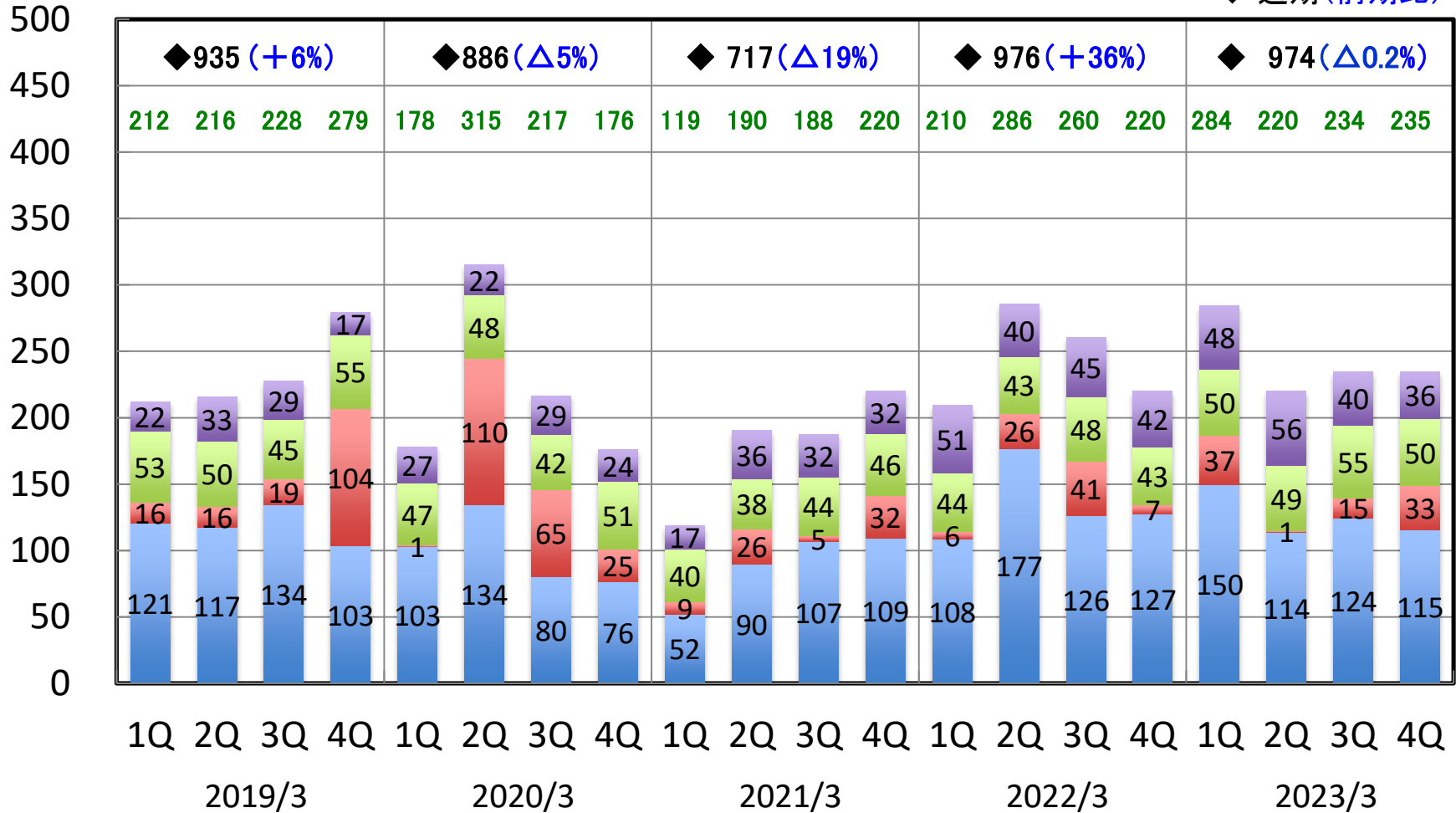
	当期実績 2023/3	前期実績 2022/3	前期比	通期計画 2023/3	計画比
枚 葉 機	503	539	93%	466	108%
輪転機・証券印刷機	87	81	107%	144	60%
中古・部品修理	204	178	115%	195	105%
DPS・PE・その他	179	178	101%	201	89%
合 計	974	976	100%	1,006	97%

品目別受注高

■ 枚葉機 ■ 輪転機・証券印刷機 ■ 中古・部品修理 ■ DPS・PE・その他

(億円)

◆ 通期(前期比)



地域別売上高

(単位：億円)

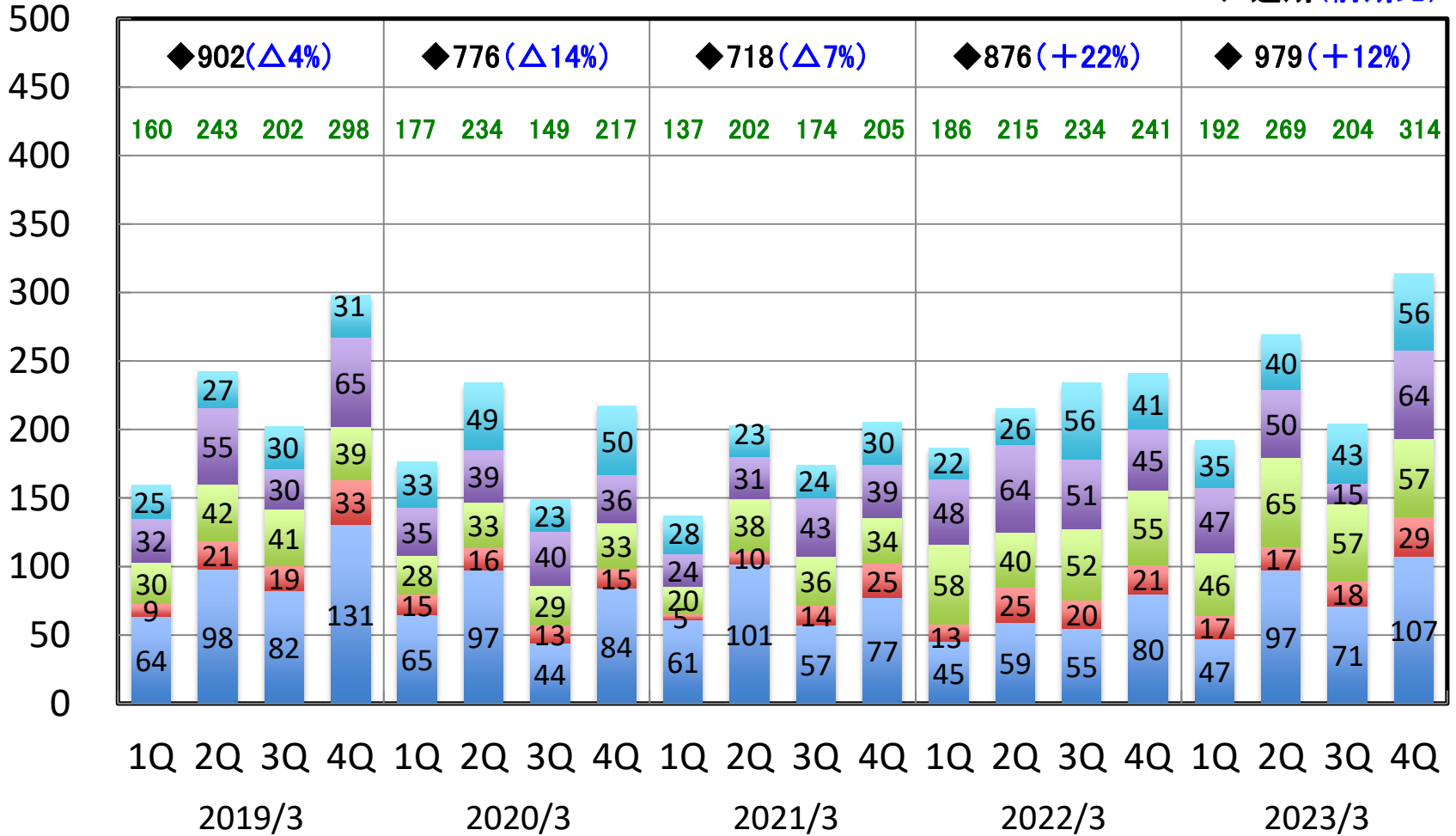
	当期実績 2023/3	前期実績 2022/3	前期比	通期計画 2023/3	計画比
日 本	323	240	135%	321	101%
北 米	81	79	102%	82	98%
(百万ドル)	(60)	(70)	(85%)	(61)	(97%)
欧 州	225	205	110%	223	101%
(百万ユーロ)	(160)	(156)	(102%)	(163)	(98%)
中 華 圏	176	208	85%	173	102%
そ の 他 地 域	174	145	120%	181	96%
合 計	979	876	112%	980	100%

地域別売上高



(億円)

◆ 通期(前期比)



品目別売上高

(単位：億円)

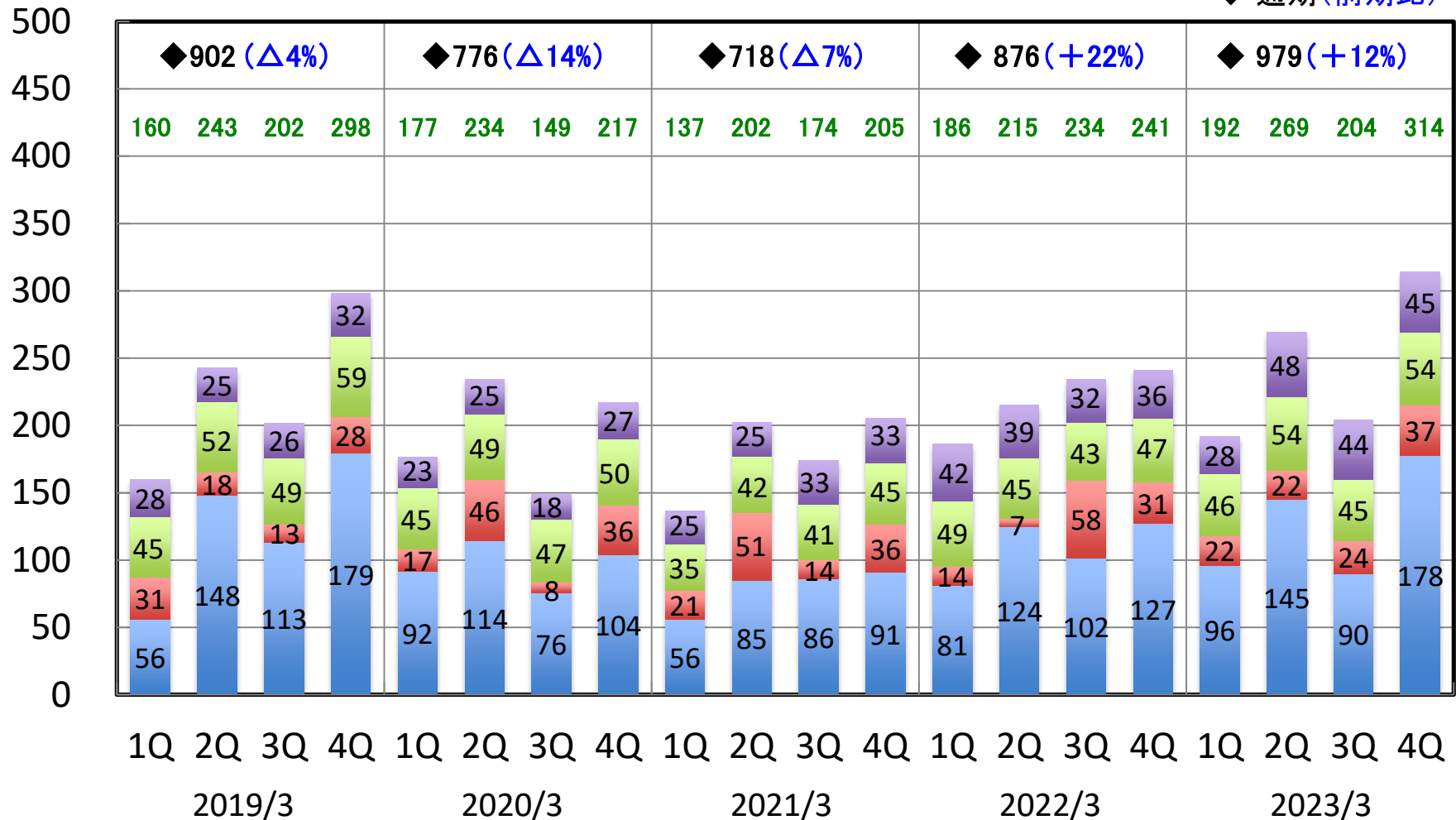
	当期実績 2023/3	前期実績 2022/3	前期比	通期計画 2023/3	計画比
枚 葉 機	509	435	117%	513	99%
輪転機・証券印刷機	106	109	98%	110	96%
中古・部品修理	200	184	108%	193	104%
DPS・PE・その他	165	149	111%	164	100%
合 計	979	876	112%	980	100%

品目別売上高

■ 枚葉機 ■ 輪転機・証券印刷機 ■ 中古・部品修理 ■ DPS・PE・その他

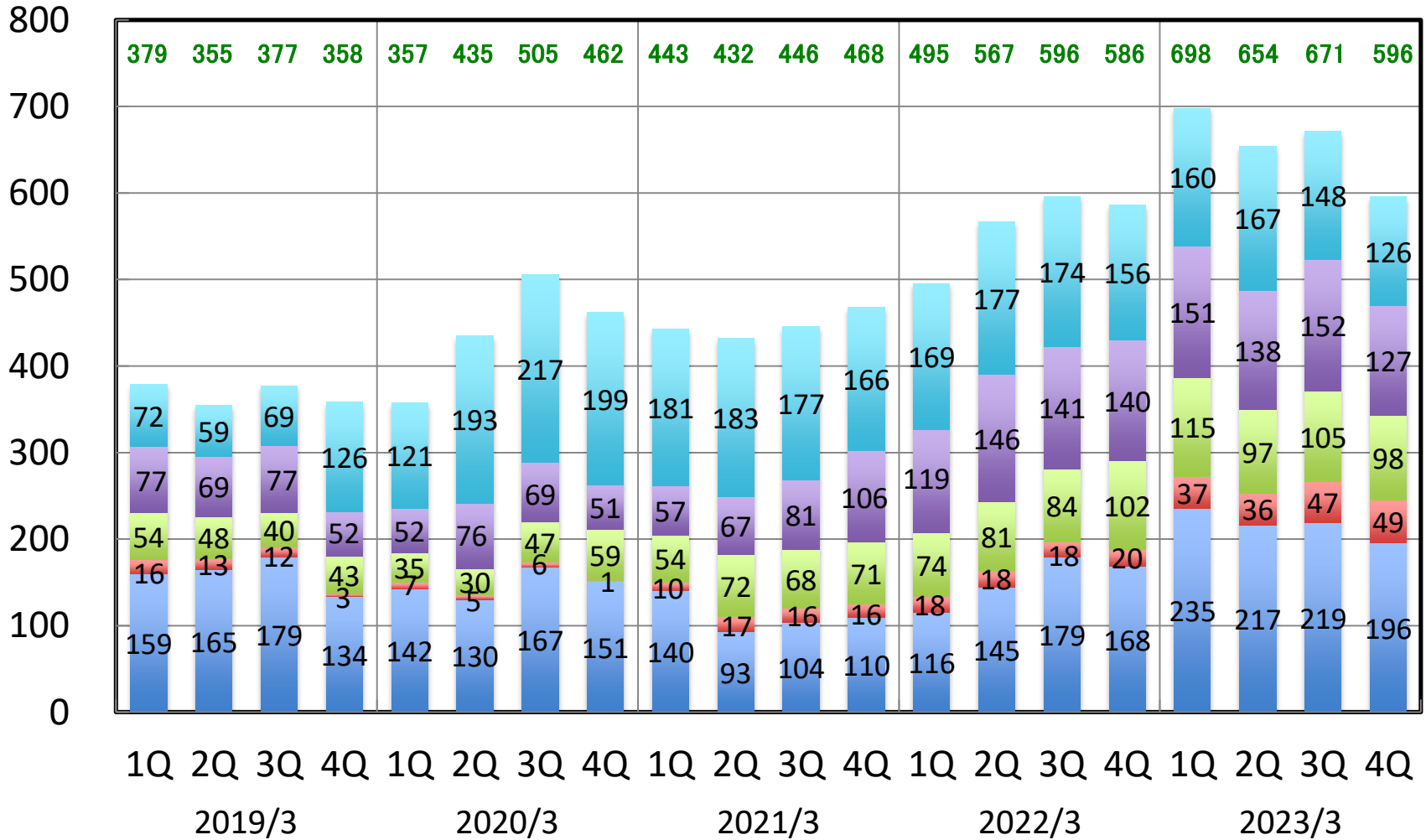
(億円)

◆ 通期(前期比)



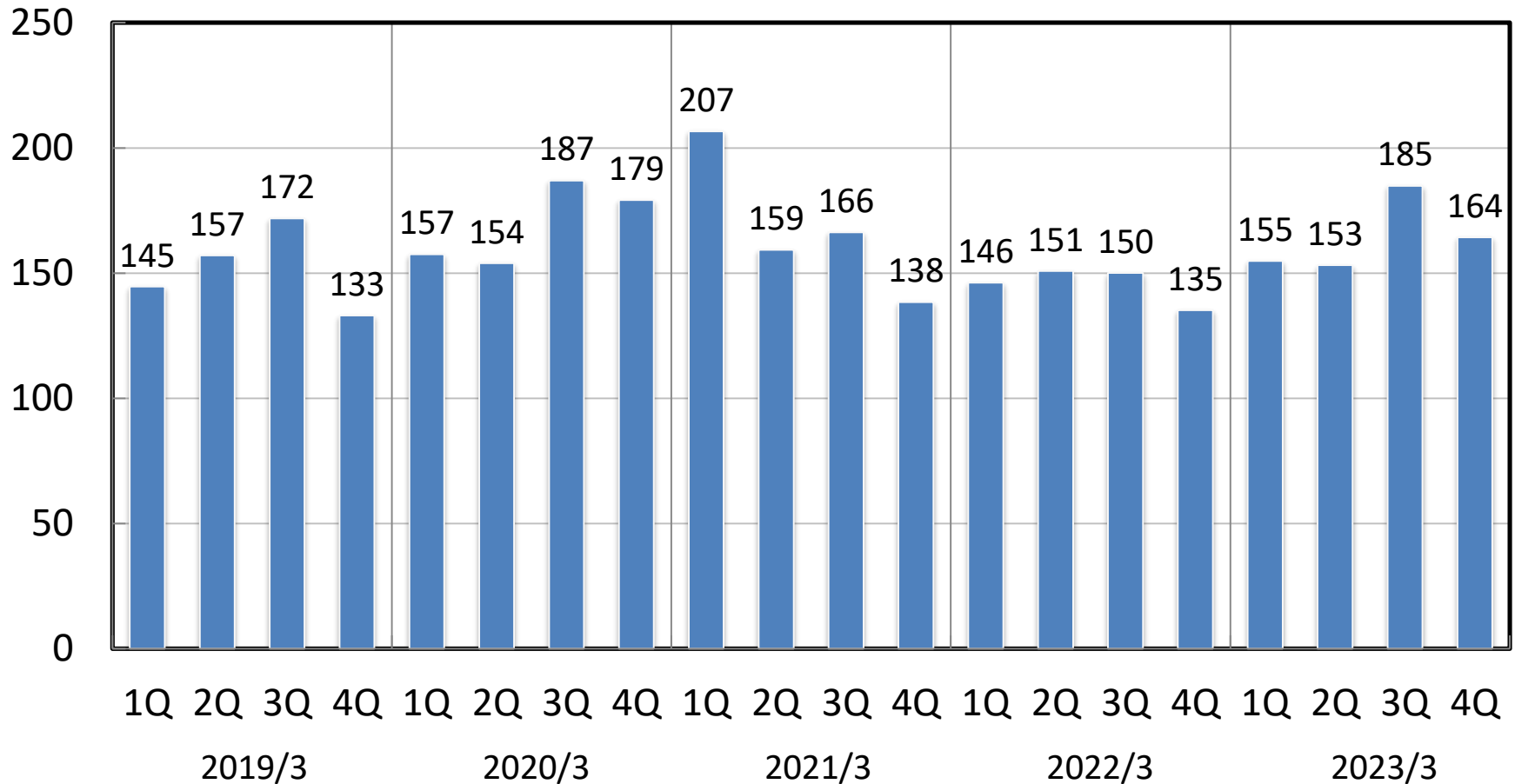
受注残高の推移

(億円)



製品在庫の推移(原価ベース)

(億円)



営業損益の変動要因(対 前期比)



業績見通し

(単位:億円)

	2024/3			2023/3 前期実績	差額	前期比
	上期計画	下期計画	通期計画			
受注高	515	495	1,010	974	36	104%
売上高	490	530	1,020	979	41	104%
営業利益	3	30	33	57	△ 24	58%
経常利益	3	32	35	66	△ 31	53%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1	25	26	57	△ 31	45%
平均レート(円)	US\$	125.00	125.00	125.00	134.95	/
	EUR	135.00	135.00	135.00	141.24	
期末レート(円)	US\$	125.00	125.00	125.00	133.53	
	EUR	135.00	135.00	135.00	145.72	

地域別受注高 予想

(単位:億円)

	2024/3			2023/3 前期実績	差額	前期比
	上期計画	下期計画	通期計画			
日 本	166	161	327	350	△23	93%
北 米	62	41	102	108	△6	95%
(百万ドル)	(49)	(33)	(82)	(80)	(2)	(102%)
欧 州	103	88	191	216	△25	89%
(百万ユーロ)	(76)	(66)	(142)	(153)	(△11)	(93%)
中 華 圏	90	89	179	155	24	115%
そ の 他 地 域	95	116	210	144	66	146%
合 計	515	495	1,010	974	36	104%

品目別受注高 予想

(単位:億円)

	2024/3			2023/3 前期実績	差額	前期比
	上期計画	下期計画	通期計画			
枚 葉 機	247	220	466	503	△37	93%
輪転機・証券印刷機	67	86	153	87	66	177%
中古・部品修理	97	104	201	204	△3	99%
DPS・PE・その他	105	85	190	179	10	106%
合 計	515	495	1,010	974	36	104%

地域別売上高 予想

(単位:億円)

	2024/3			2023/3 前期実績	差額	前期比
	上期計画	下期計画	通期計画			
日 本	143	199	342	323	20	106%
北 米	52	39	91	81	10	113%
(百万ドル)	(41)	(31)	(73)	(60)	(13)	(122%)
欧 州	107	105	212	225	△13	94%
(百万ユーロ)	(79)	(78)	(157)	(160)	(△3)	(98%)
中 華 圏	108	93	201	176	24	114%
そ の 他 地 域	81	93	174	174	0	100%
合 計	490	530	1,020	979	41	104%

品目別売上高 予想

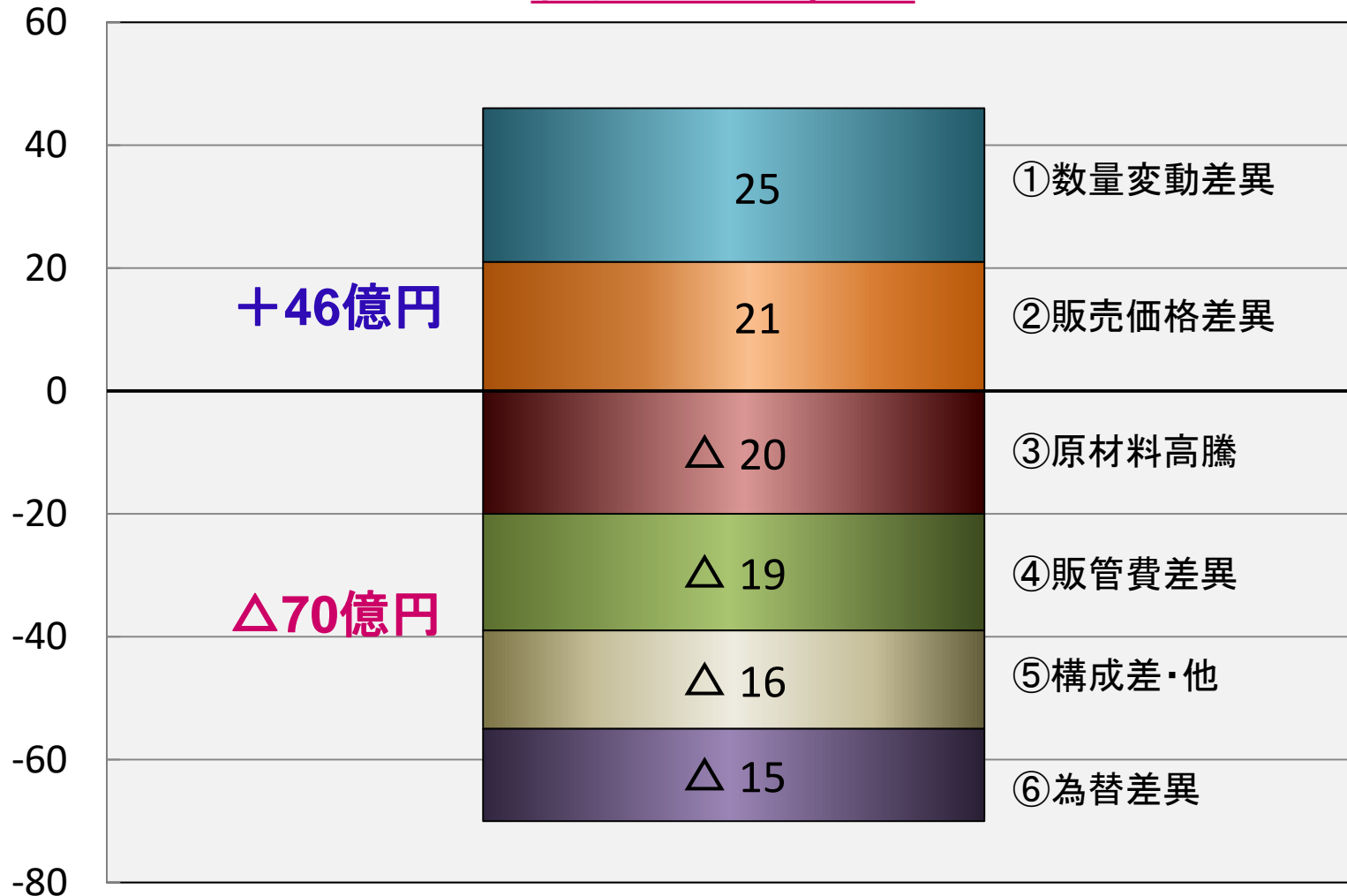
(単位:億円)

	2024/3			2022/3 前期実績	差額	前期比
	上期計画	下期計画	通期計画			
枚 葉 機	249	259	508	509	△1	100%
輪転機・証券印刷機	75	55	130	106	24	123%
中古・部品修理	92	105	197	200	△2	99%
DPS・PE・その他	74	111	184	165	20	112%
合 計	490	530	1,020	979	41	104%

2024/3月期 営業損益(予想)の変動要因(対 前期比)

(億円)

合計 $\Delta 24$ 億円



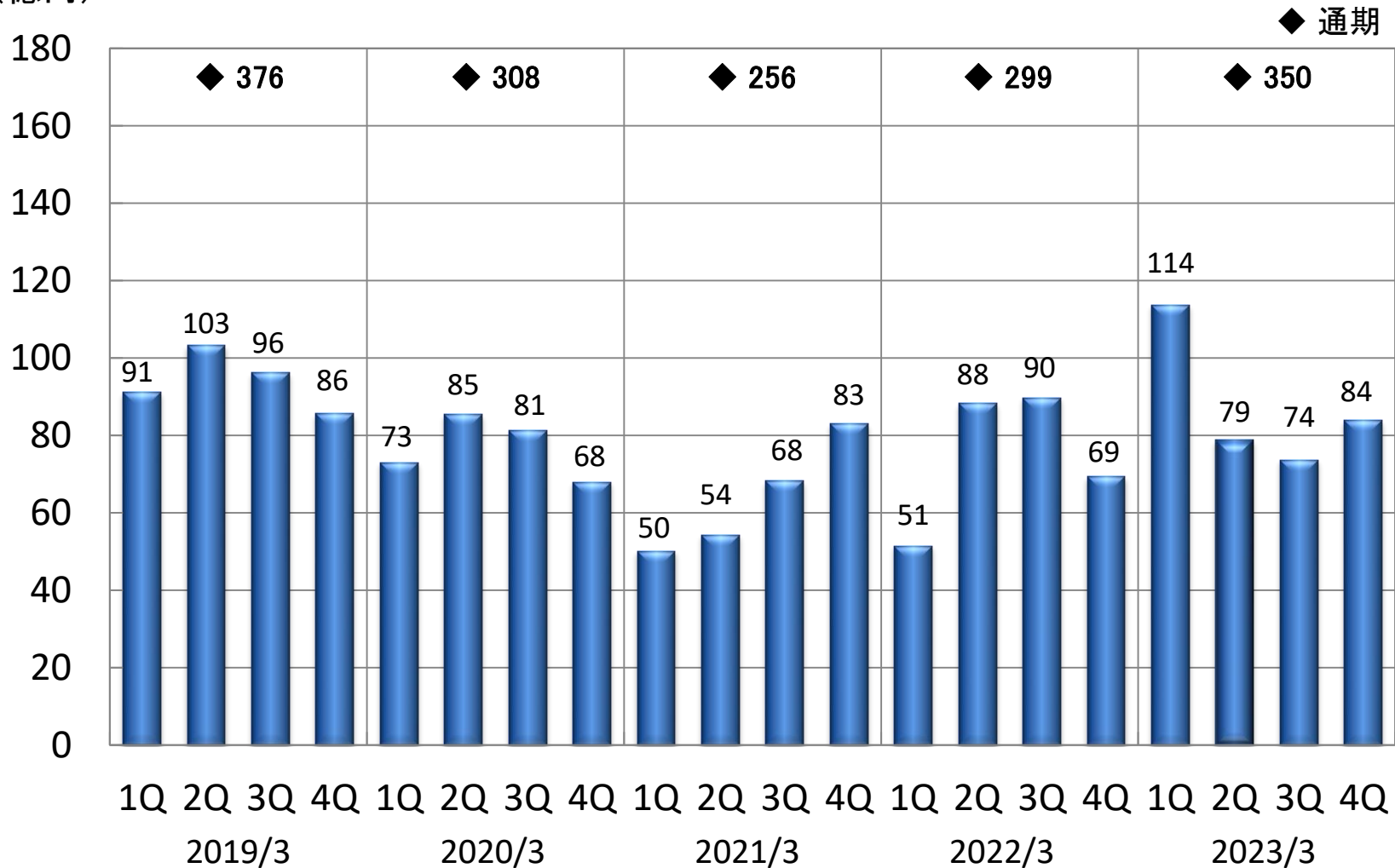
設備投資・減価償却費・開発費

(単位:百万円)

	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3 予想
従業員数(名)	2,335	2,363	2,686	2,613	2,567	2,650
人件費	20,908	20,386	20,199	22,122	23,246	23,700
設備投資額	1,334	1,678	1,394	2,371	2,303	4,700
減価償却費	1,965	2,304	1,604	1,877	1,896	1,800
研究開発費	4,740	4,899	4,002	4,050	3,654	4,300
(売上高比)	(5.3%)	(6.3%)	(5.6%)	(4.6%)	(3.7%)	(4.2%)

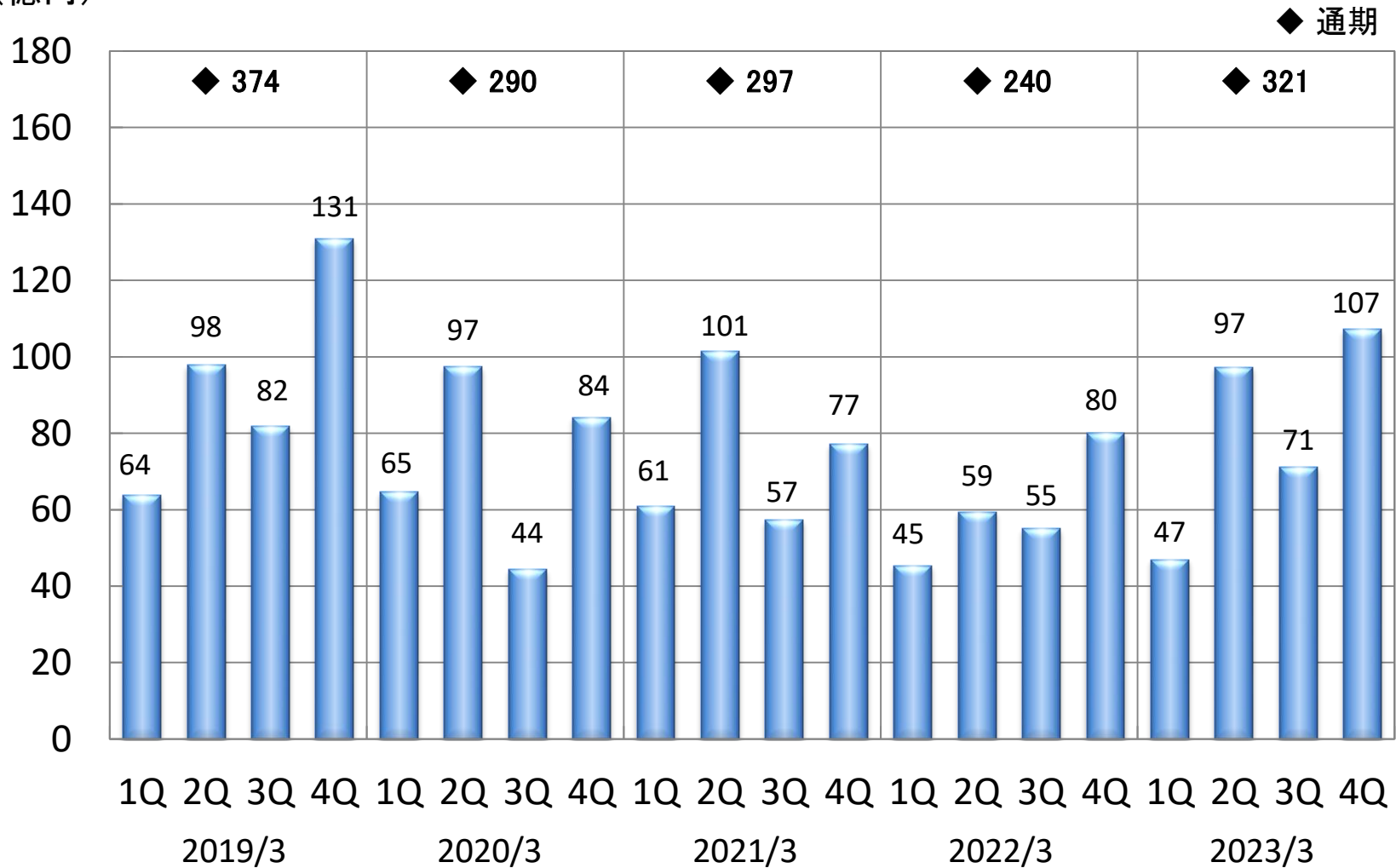
日本 受注高

(億円)



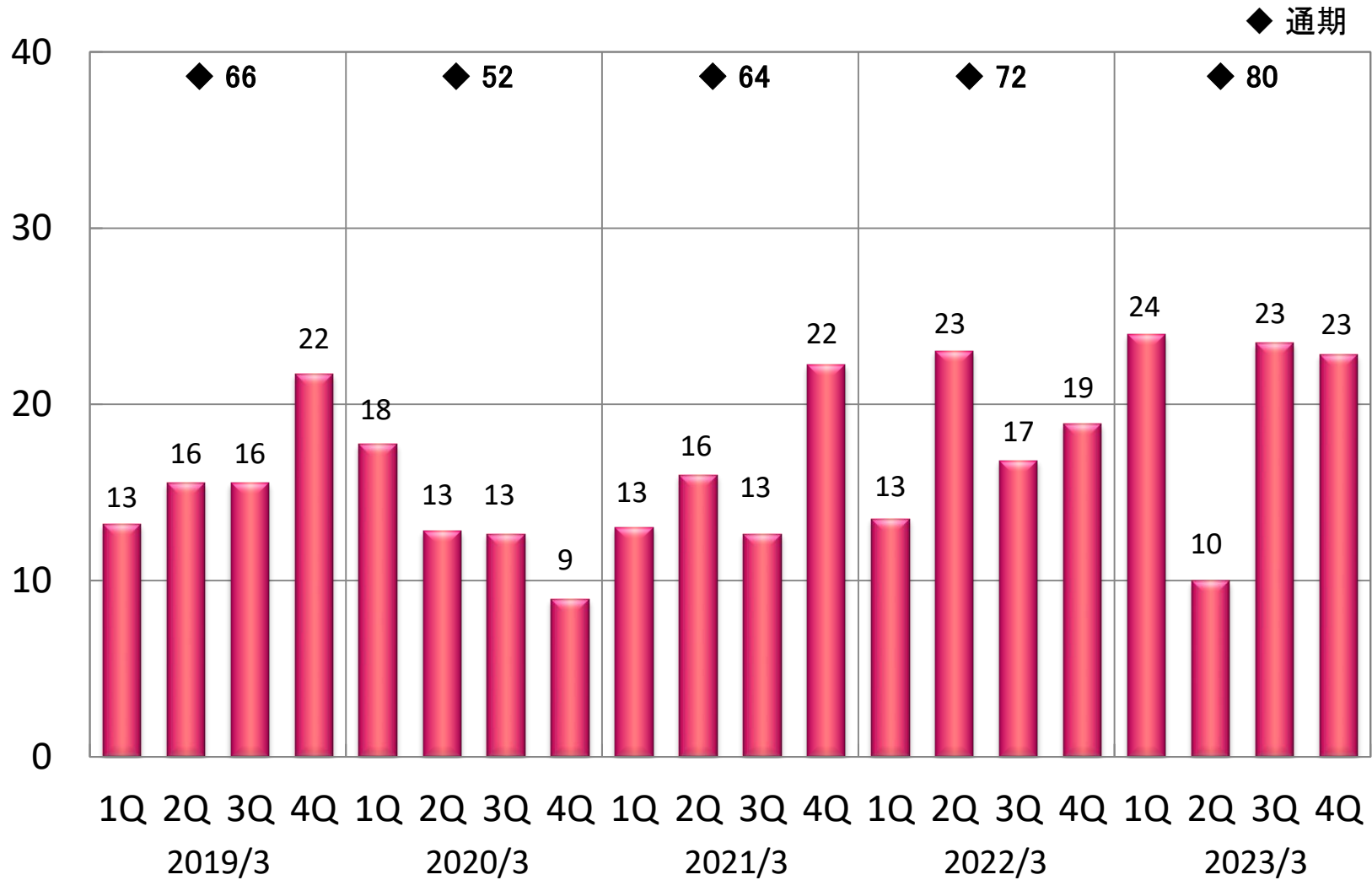
日本売上高

(億円)



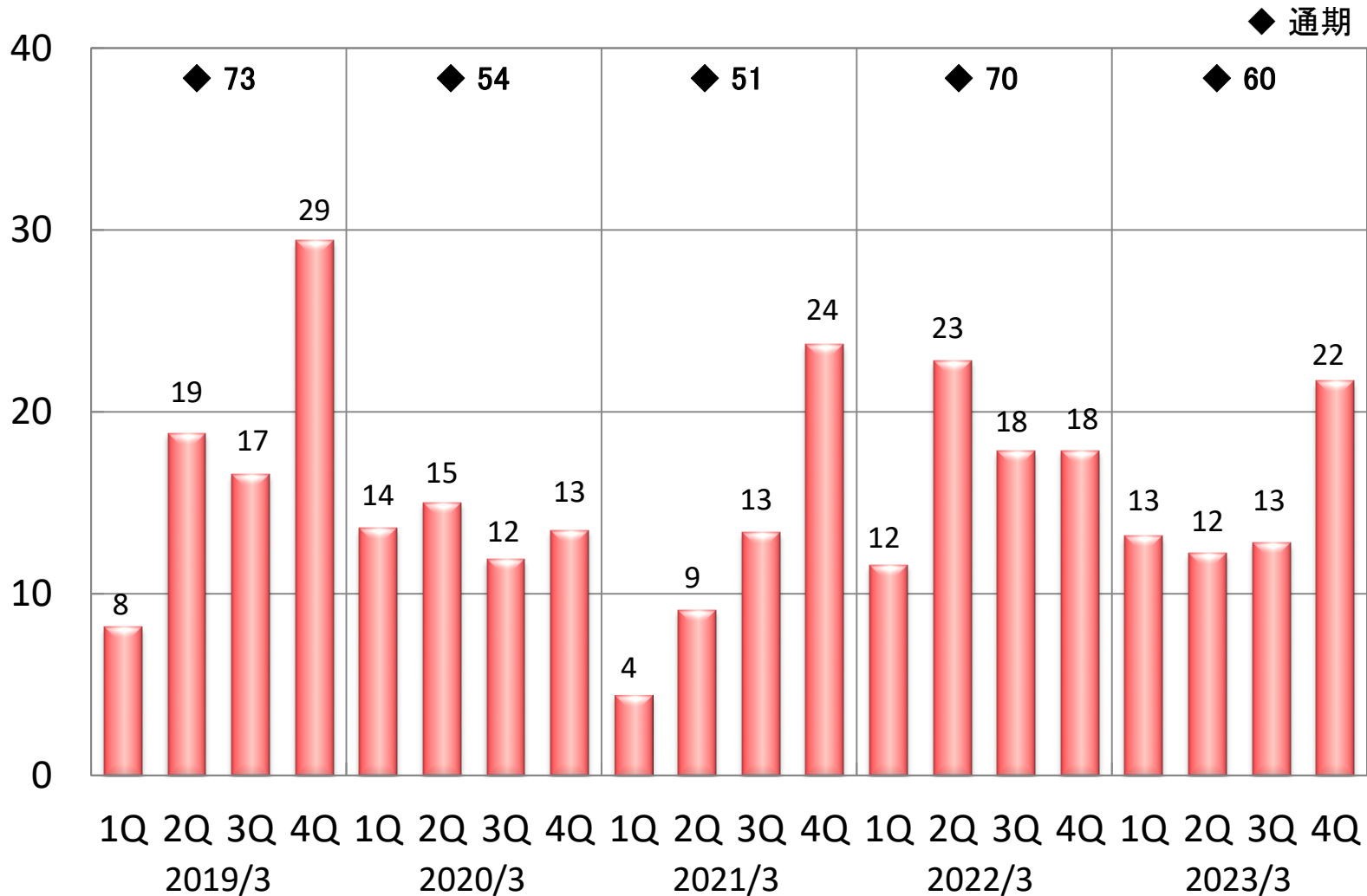
北米 受注高

(million \$)



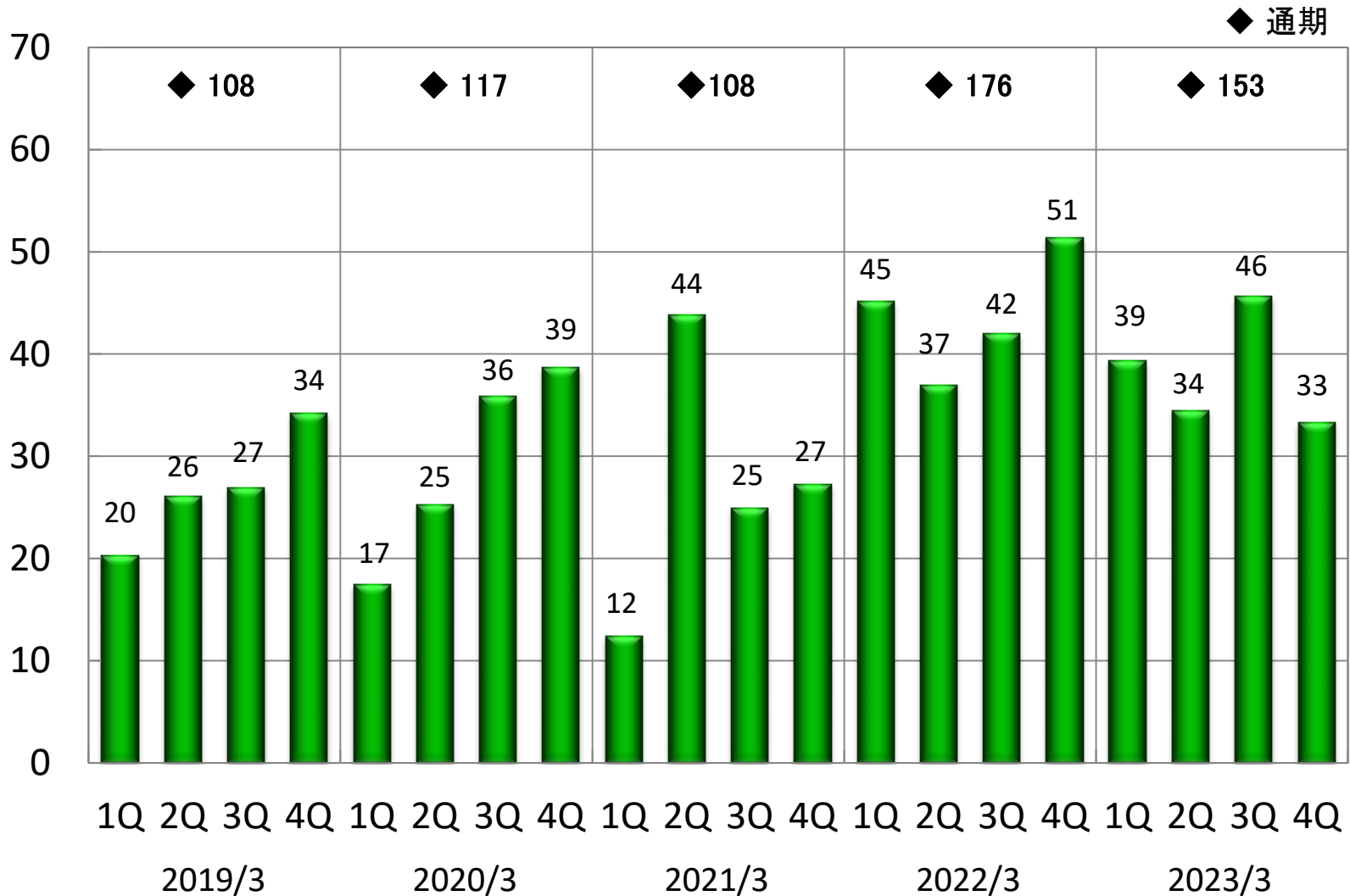
北米 売上高

(million \$)



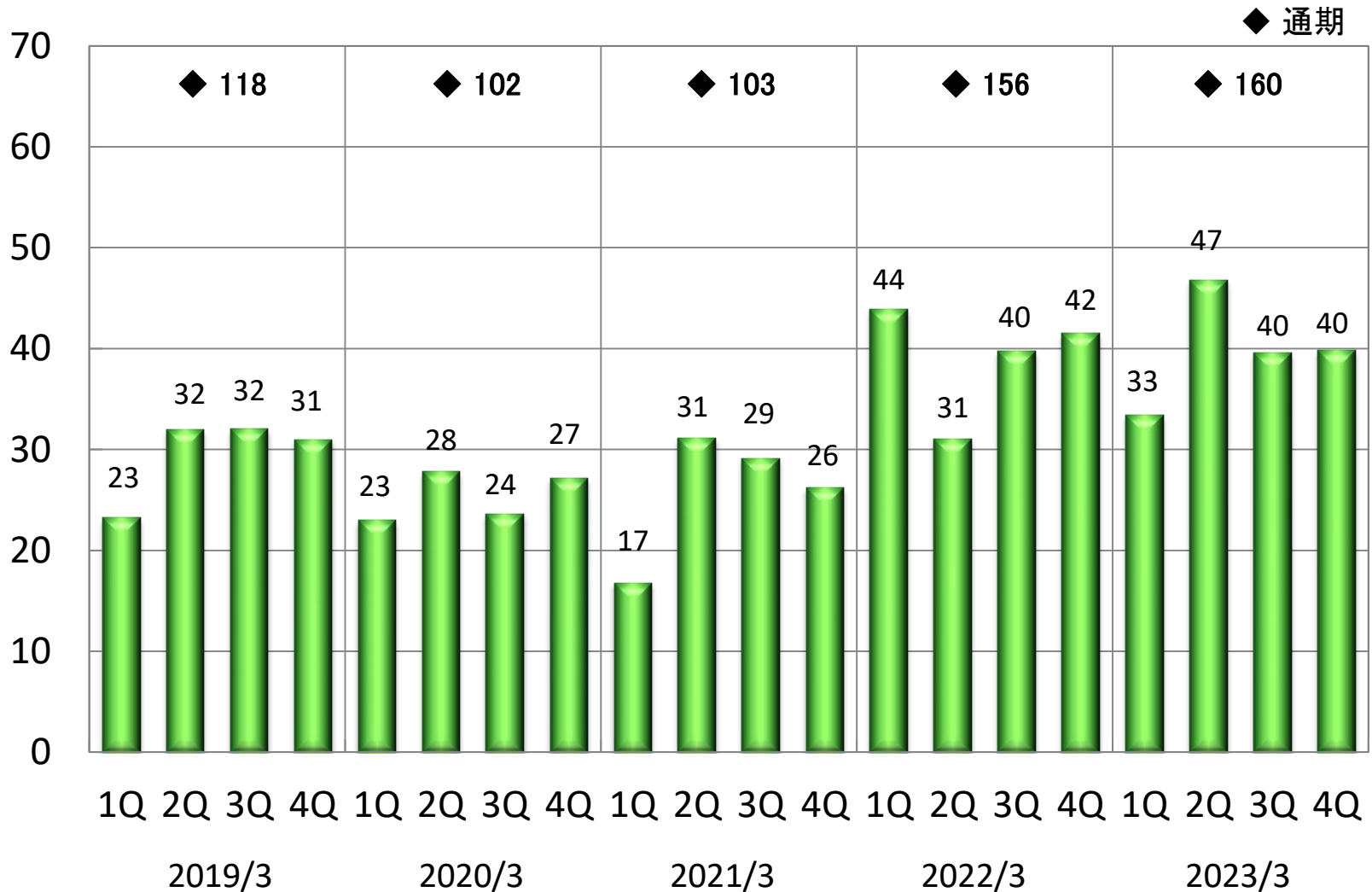
欧州 受注高

(million EUR)



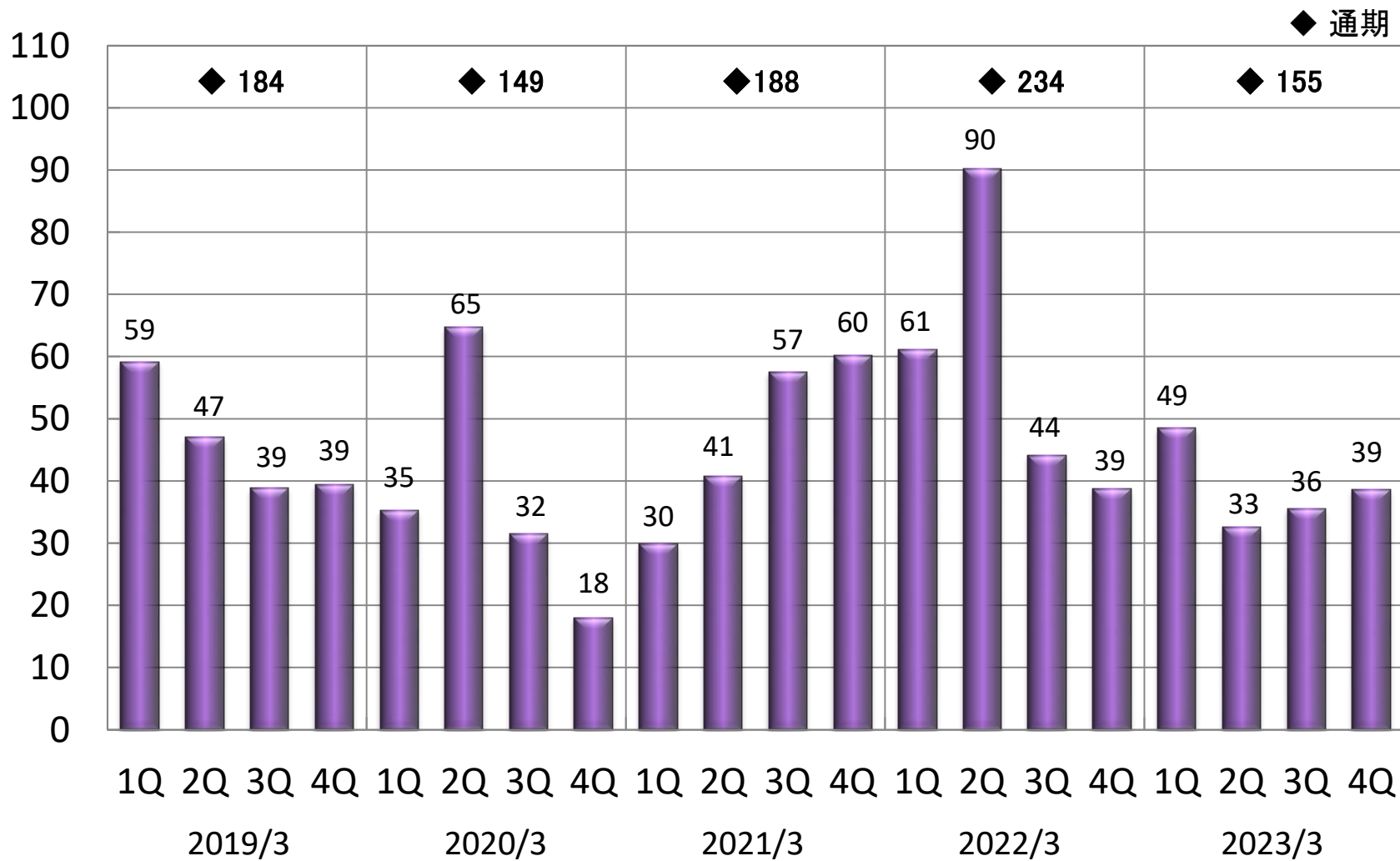
欧州 売上高

(million EUR)



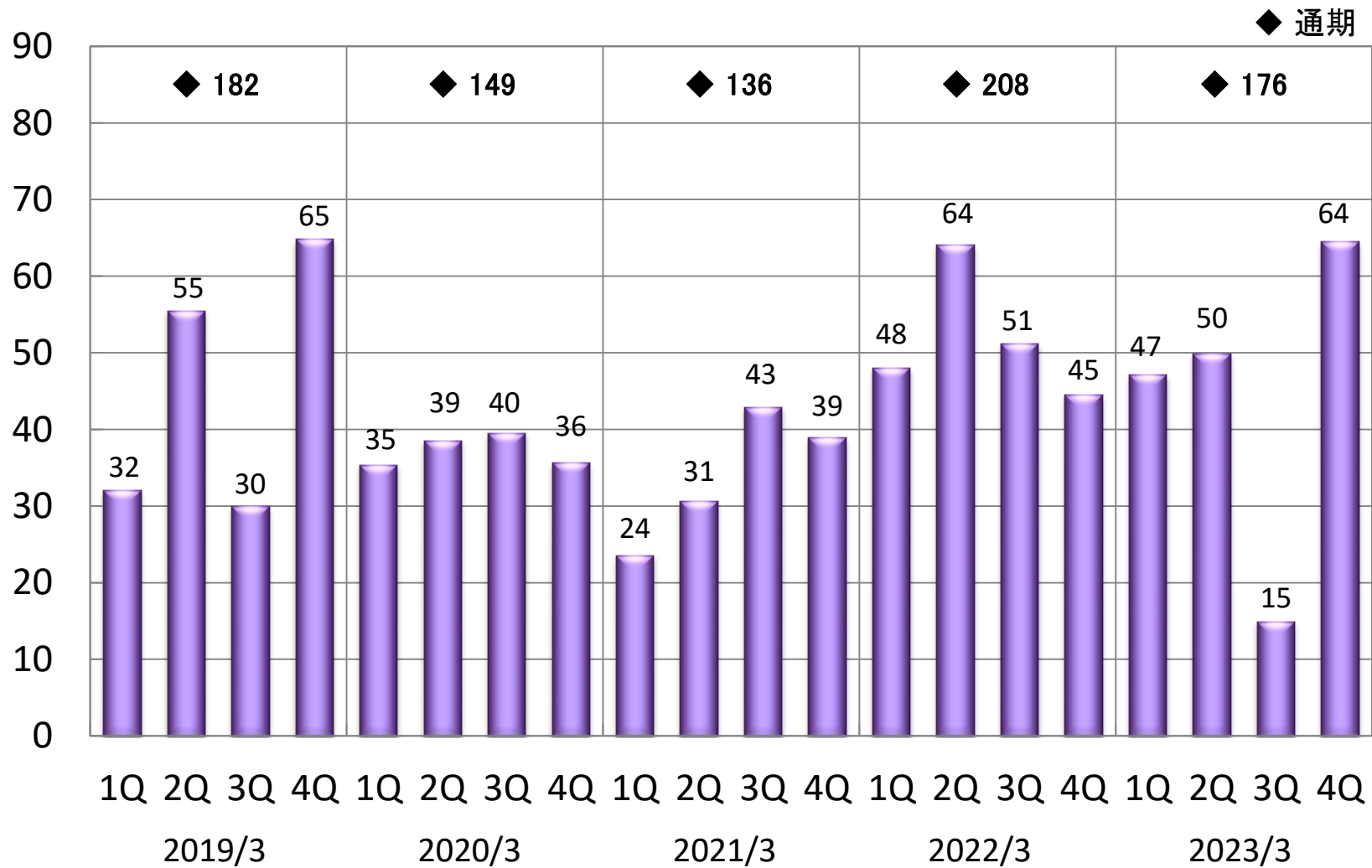
中華圏 受注高

(億円)



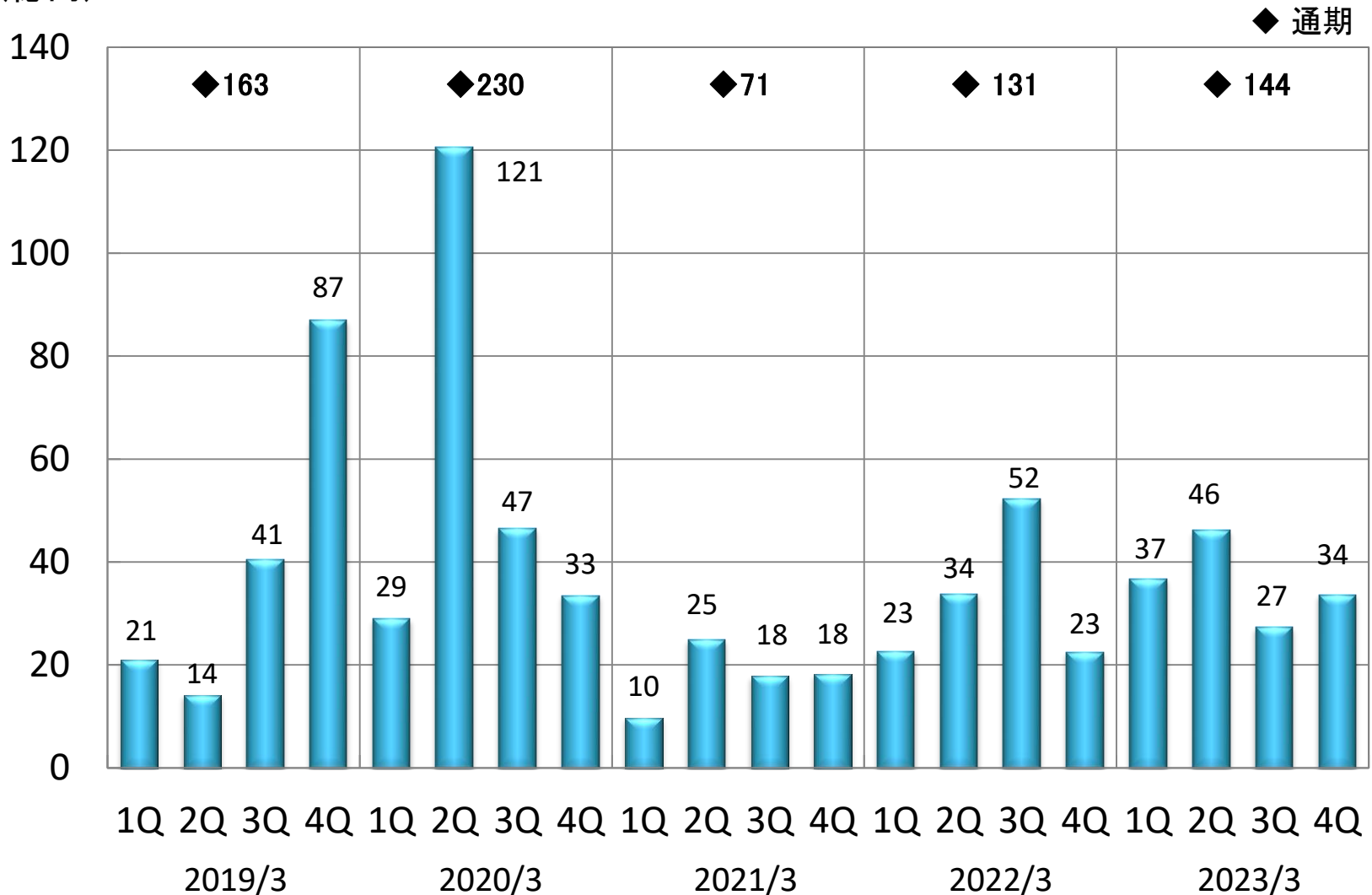
中華圏売上高

(億円)



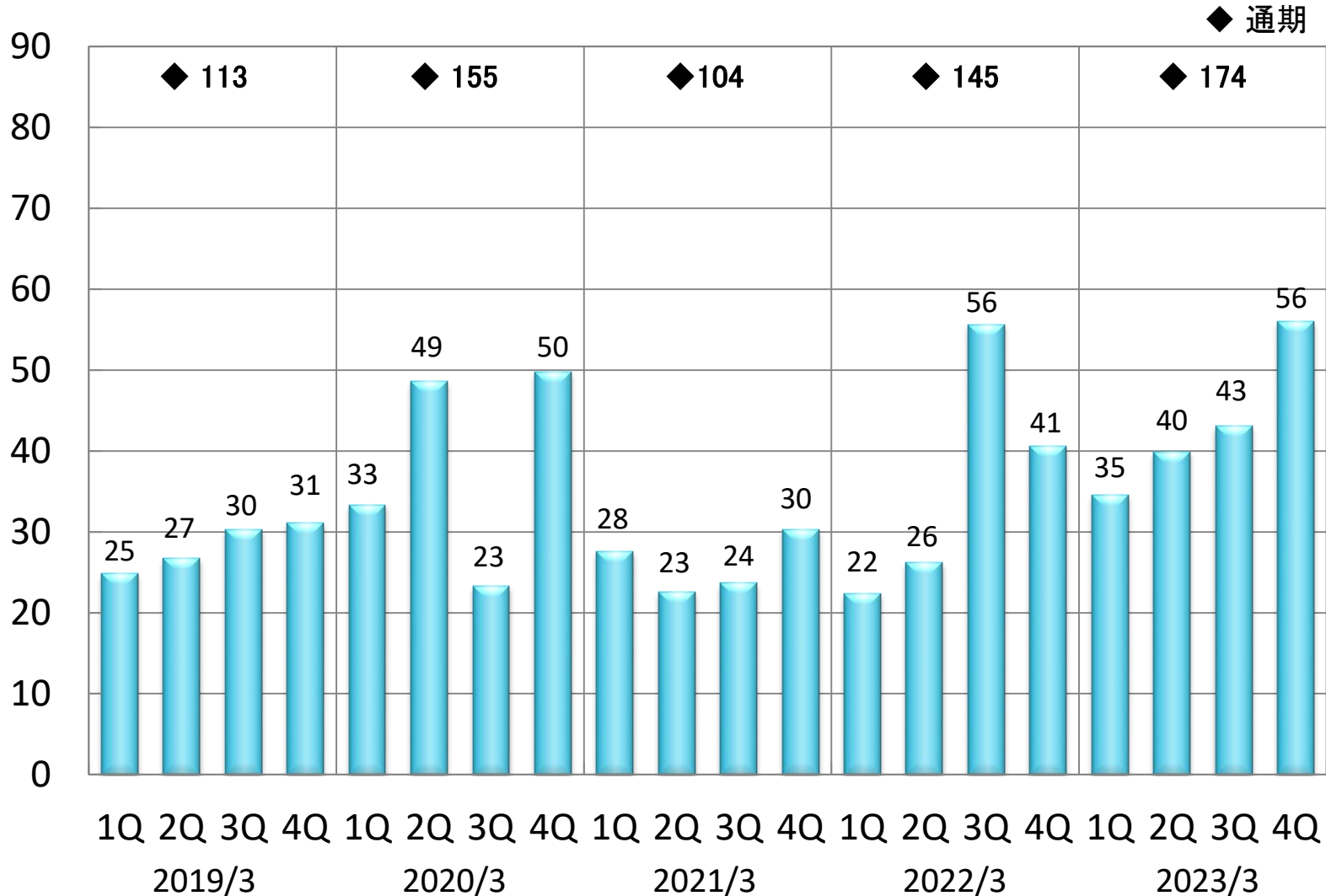
その他地域 受注高

(億円)



その他地域 売上高

(億円)



決算説明会

2023年3月期 経営概況

代表取締役社長

持田 訓

Contents

目次

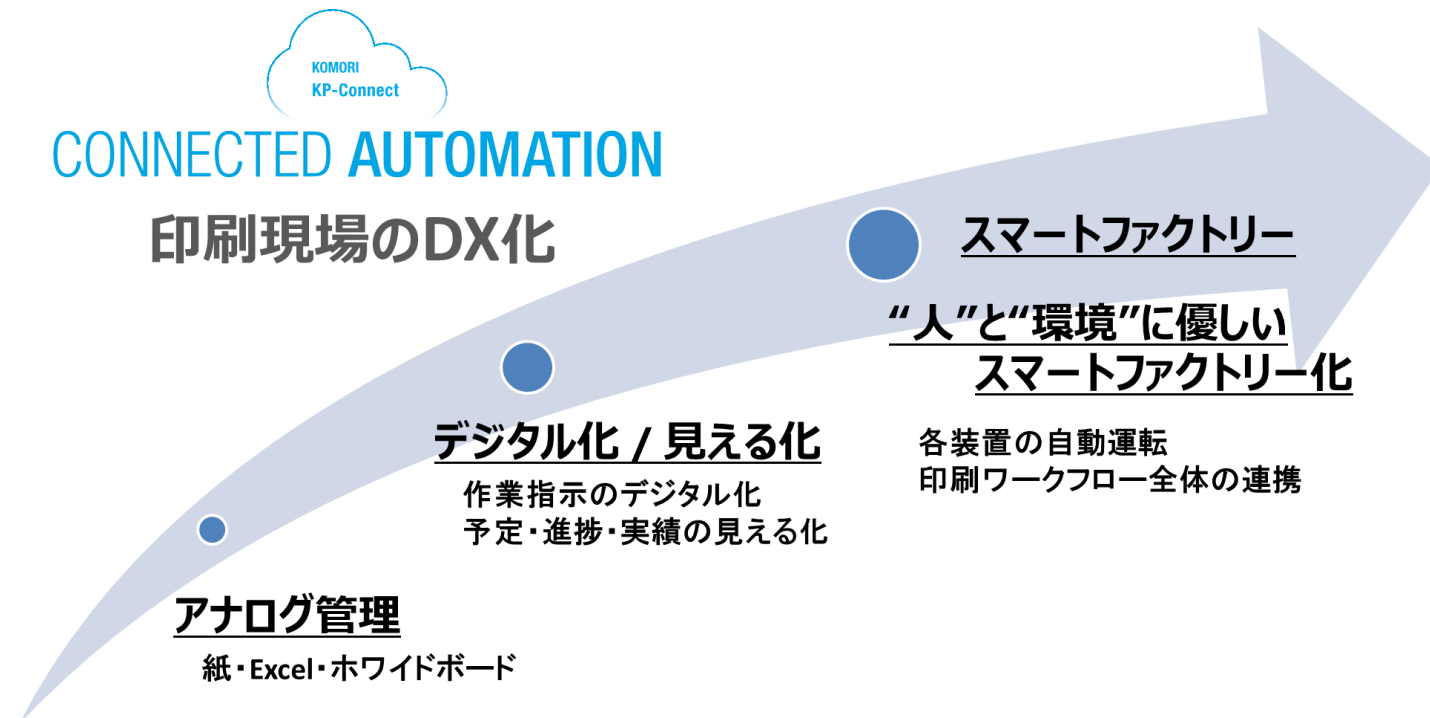
- 1 2023年3月期実績と2024年3月期計画
- 2 2024年3月期 経営方針
- 3 ESG(SDGs)対応(社会・環境への取り組み)

01

2023年3月期実績と
2024年3月期計画

・コモリグラフィックテクノロジーセンター(KGC)を オープンイノベーション拠点『生産の未来が体感できる空間』にリニューアル

- ・ KP-Connect による製造DXでスマートファクトリーを実現
- ・ KP-Connect のAPIをパートナーに公開
- ・ コネクテッド・オートメーション・コンセプトによりAGV/ロボットを含む多様なパートナー機器とデータ連携

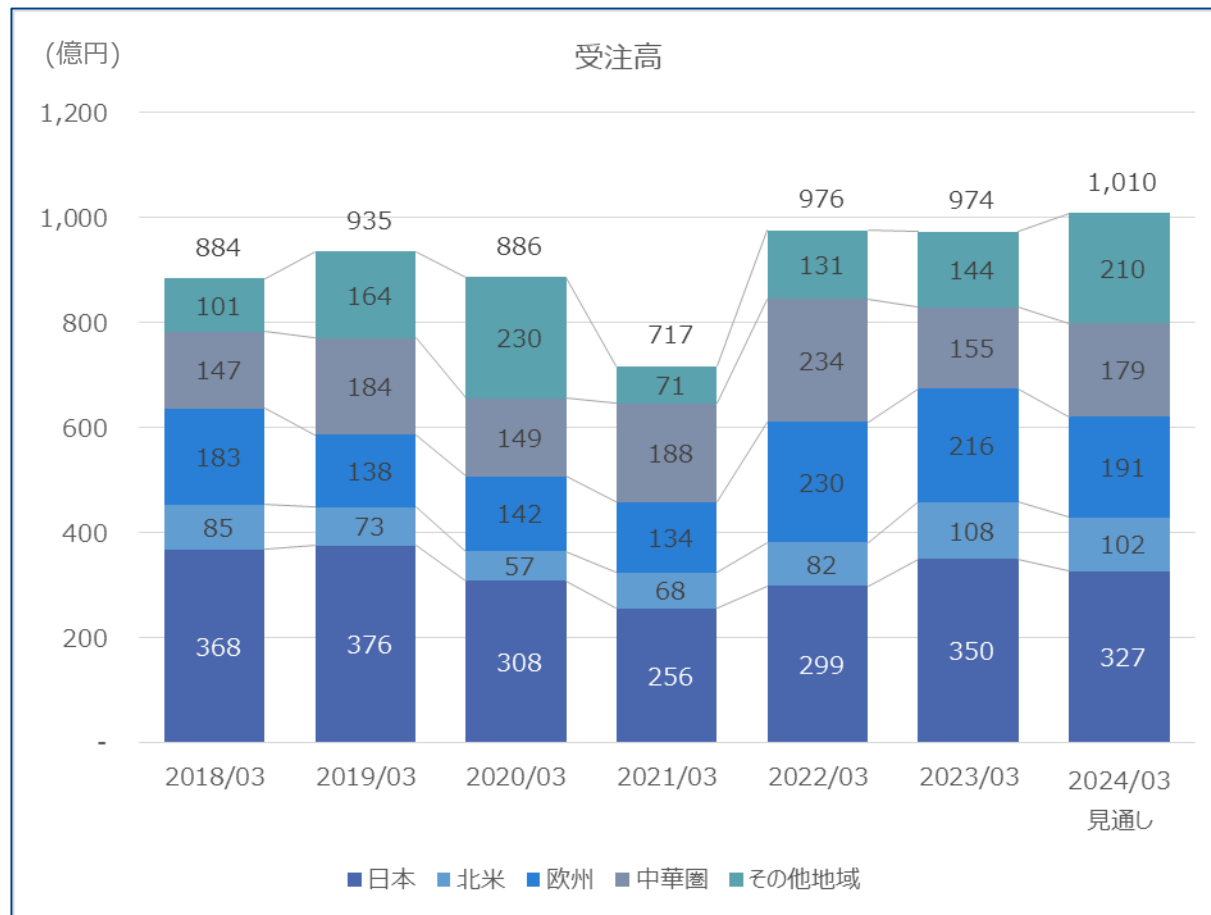


	2023年3月期状況	2024年3月期の見通し
日本	<ul style="list-style-type: none"> 国内市場は材料及びエネルギーの高騰で年明けから更に印刷会社の原価が上昇 	<ul style="list-style-type: none"> 材料及びエネルギーの高騰が継続 印刷会社の再編 設備投資は省エネ補助金を活用が増加
中華圏	<ul style="list-style-type: none"> ゼロコロナ政策からの政策変更 3月以降は中国国内移動が正常化 設備需要の回復が徐々に回復 	<ul style="list-style-type: none"> 印刷市場は徐々に回復し4月の東莞展も盛況 業務に特化した印刷機械の需要が増えている 中国国内消費向けパッケージ印刷の設備投資が堅調 外資系メーカーの他国への移転により印刷会社も生産拠点を移転継続
北米	<ul style="list-style-type: none"> 40年ぶりのインフレとなったが機械受注は堅調 サプライチェーン寸断の影響による納期遅延が発生 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルマーケティングの飽和から紙に回帰 DM市場が旺盛でデジタル印刷機の需要増加
欧州	<ul style="list-style-type: none"> 地政学的リスクと金融問題、サプライチェーン混乱により印刷会社の再編が加速 	<ul style="list-style-type: none"> 印刷会社の再編に伴い兼用機、高効率機の需要増加 商業印刷は両面高速反転機、パッケージ印刷は10色を超える多色機などワンパス化が加速
その他	<ul style="list-style-type: none"> 【インド】 行動制限解除以降、経済活動は一気に復調 通期で過去最高の受注 【韓国】 経済が低迷するなかでも計画を上回る受注 【アジアパシフィック】 概ねコロナ前の成長軌道に回復 パッケージ向け機械の受注量が増加 	<ul style="list-style-type: none"> 【インド】 引き続き明るい見通しでパッケージ印刷が堅調 出版、商業印刷も復調 【韓国】 経済の低迷により印刷業界も業界再編、淘汰が進む 【アジアパシフィック】 中国経済の復調により概ね堅調 商印出版印刷は低迷するがパッケージ印刷は成長

・2023年3月期は経済回復により売上は増収,2024年3月期も堅調に伸びる見通し

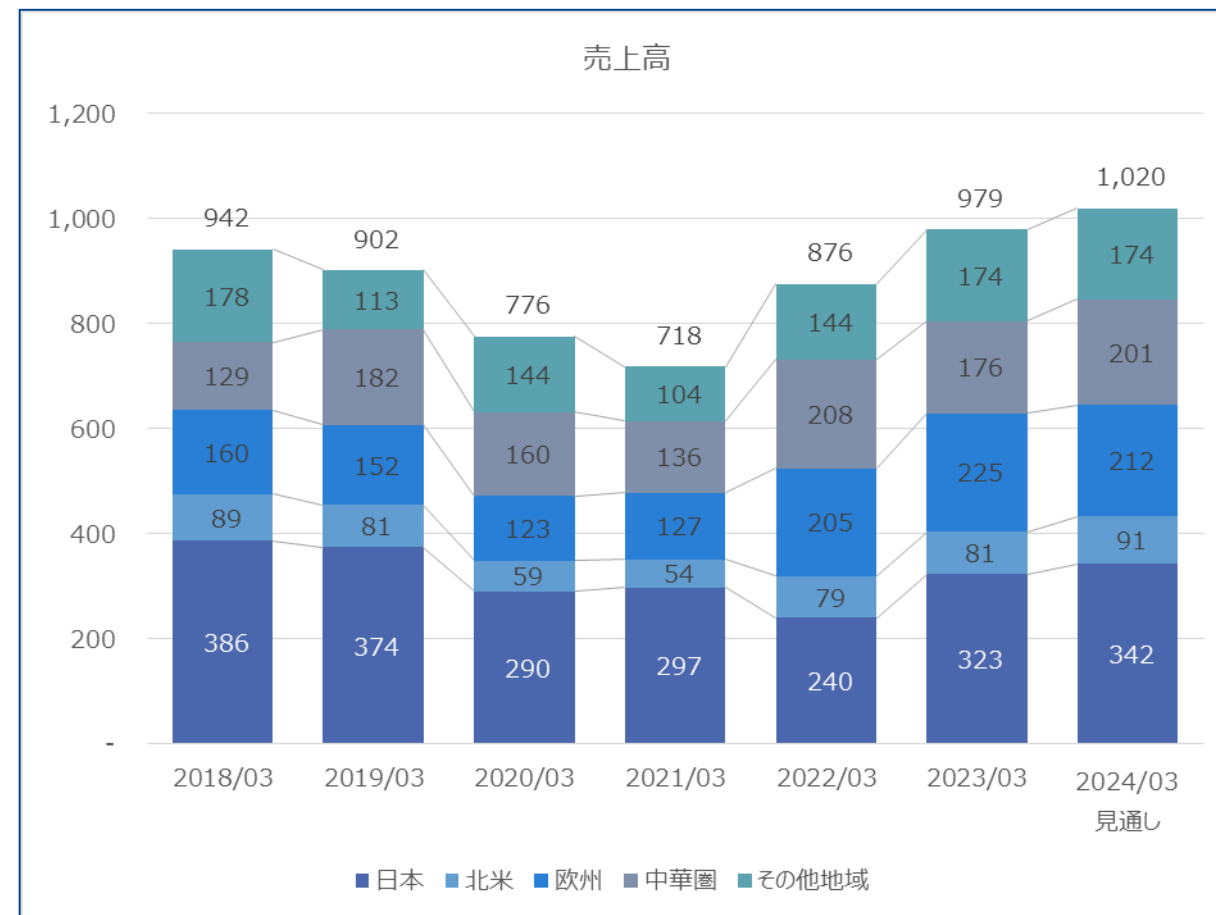
受注高

2023年3月期実績： 974億円（2022年3月期比:100%）
 2024年3月期計画： 1,010億円（2023年3月期比:104%）



売上高

2023年3月期実績： 979億円（2022年3月期比:112%）
 2024年3月期計画： 1,020億円（2023年3月期比:104%）



	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期見通し	第6次中期経営計画目標
売上	876億円	979億円	1,020億円	1,100億円
営業利益	23億円	57億円	33億円	77億円
営業利益率	2.6%	5.8%	3.2%	7.0%
ROE	6.1%	5.4%	2.4%	5.3%

課題

経営スピードの向上 / 新規事業領域への投資 / サービス強化

・第6次中期経営計画(2019年4月1日~2024年3月31日)の資金アロケーション

- ・株主還元 → 最終利益 (特別損益以下は別途考慮) の 80% 以上
- ・純資産圧縮 → 中期経営計画での財務方針にそって圧縮 (目標では自己資本比率 65~70% 程度)

2019年3月	純資産1,301億円	自己資本比率	77.7%
2023年3月	純資産1,071億円	自己資本比率	64.6%

・今後の資金アロケーションについて

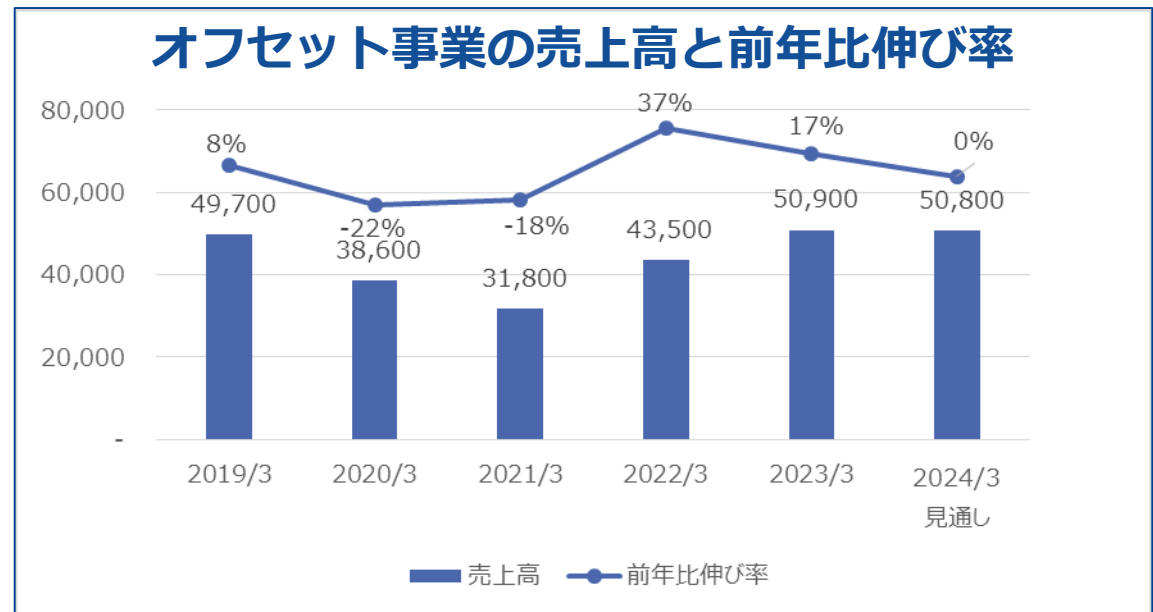
- ・重点分野への投資拡大など対応すべき課題への資金配分を含め、新中期経営計画 (2024年4月開始) での財務戦略を検討開始
- ・長期ビジョン KOMORI 2030 への対応
 - ➔ 成長分野への投資拡大
 - ➔ 基盤事業の収益性向上
- ・マルチステークホルダー方針への対応
 - ➔ 多様なステークホルダーとの価値協創
 - ➔ 協力企業とのパートナーシップ構築宣言

02

2024年3月期 経営方針

- 環境対応/自動化ソリューションの強化とグローバル展開強化
- LITHRONE advanceシリーズの商品力強化とROI提案
 - 44インチ印刷機、ワンパス両面機などKOMORI独自の差異化商品の販売強化
 - 兼用機、多色機、反転機、コーター付高速機など市場ニーズに合った商品、サービスの提供
 - 省エネルギー、損紙低減により環境負荷を低減する商品開発
- スマートファクトリー構築による生産性の極大化
 - KP-Connect Proを接続し、生産現場の見える化、自動化、整流化
 - 自動化・省力化技術の開発、アライアンス

4月に開催した東莞展の様子



・差別化戦略

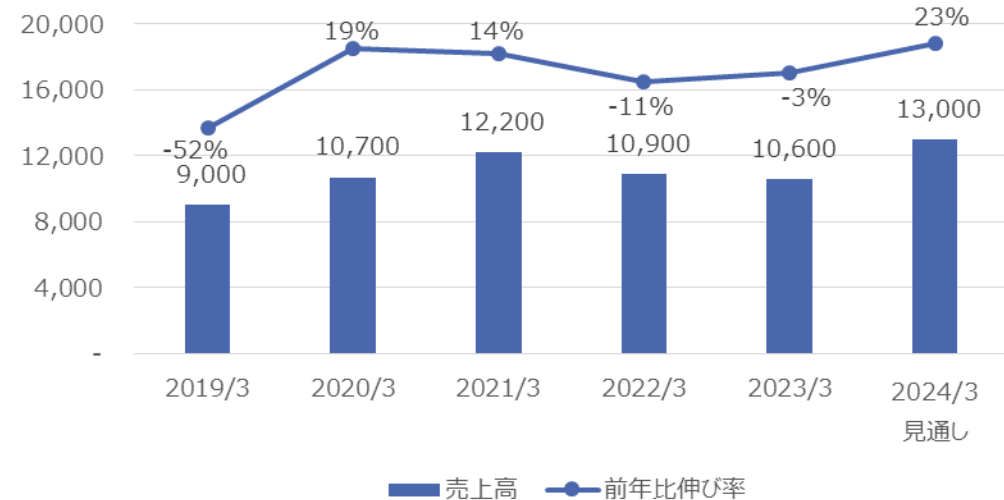
- ・ 現行機種の顧客別入札対応とラインナップ強化
- ・ Sustainability/Productivity/Profitabilityを重点方針とした商品企画
- ・ KGC-Sを設立し証券印刷技術の研究、技術者育成、新規セキュリティ印刷商品を開発

・事業領域拡大戦略

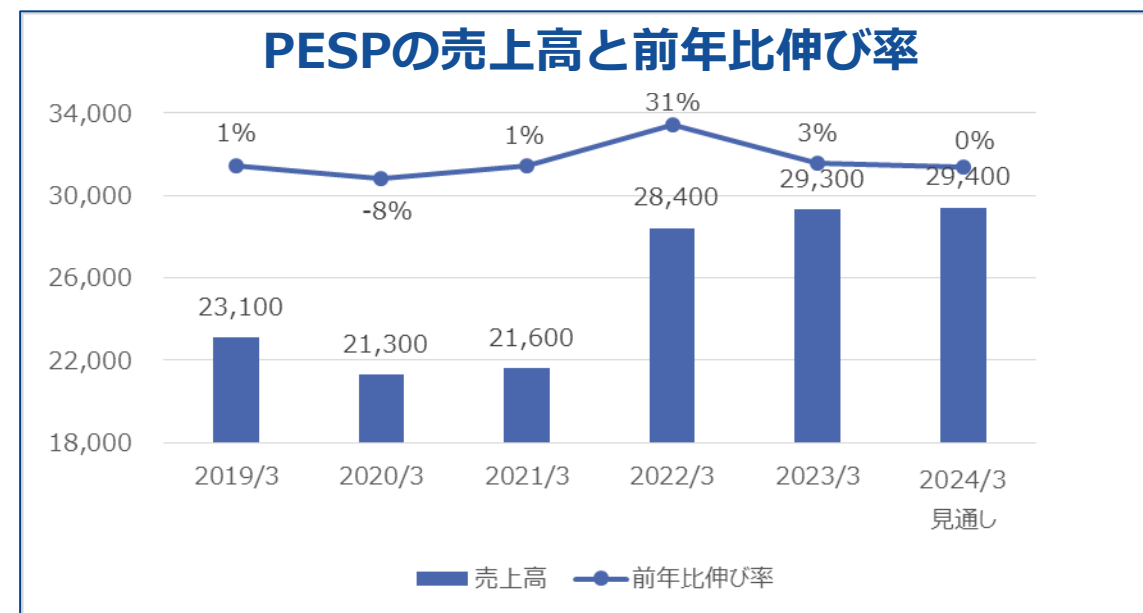
- ・ アフターセールスサービス事業の推進
- ・ パスポートなどの高度な偽造防止能力を要する印刷物向けに販売拡大



輪転/証印事業の売上高と前年比伸び率



- ・リカーリングビジネスの強化
- ・定期保守サービスの拡充によりお客様の突発停止をなくす
 - ・予防保全と連携させた計画工事
 - ・遠隔サポートによるサービスの迅速化
 - ・印刷コンサルタント保守契約によるリカーリングビジネス
- ・環境負荷を低減するPESP商品の拡充
 - ・印刷機に適合した印刷資材の研究開発と拡販
 - ・機材/レトロフィット商品の拡充



・DPS事業) デジタル印刷での新たなアプリケーション開拓への挑戦

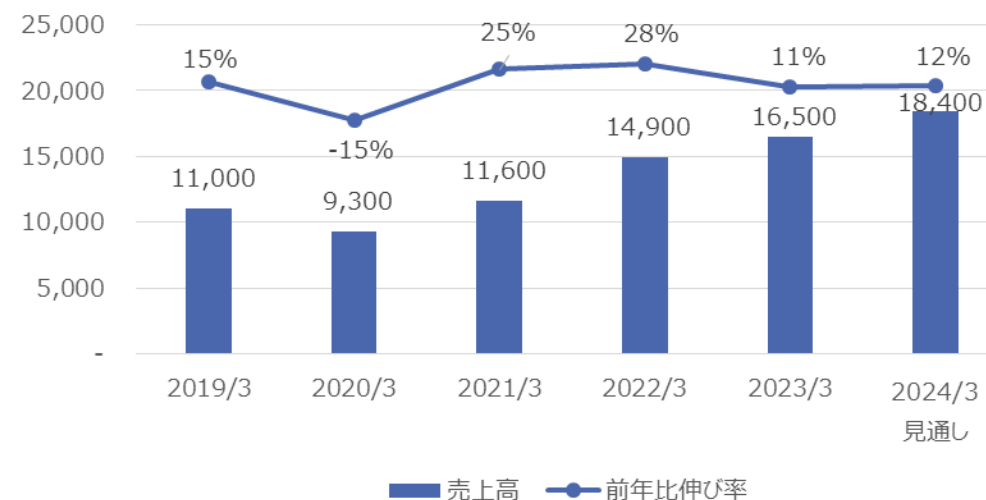
- 高品質のB1サイズ大型写真、芸術作品印刷向けにNS40の中国でのフィールドテストを開始
- 高品質芸術作品印刷に続くデジタル印刷機のアプリケーション開拓として需要の高まる美粧マイクロフルート印刷への取組みを強化

・MBO事業) インダストリー4.0への取組み

- 機械のネットワーク化、生産プロセスの最適化へのビッグデータ活用と自動化、ロボット化の強化および予知保全に向けてAI活用を推進



DPS/MBO/PE事業の売上高と前年比伸び率

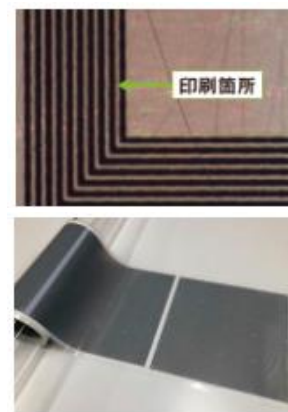
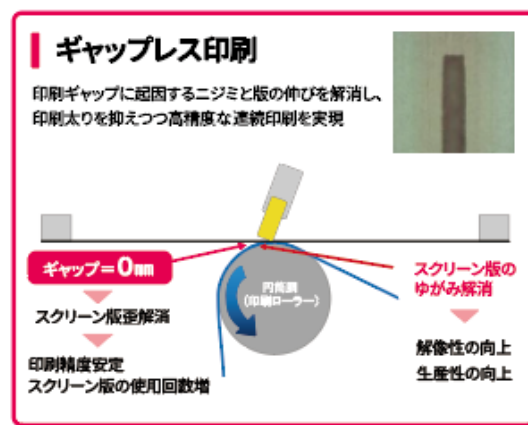
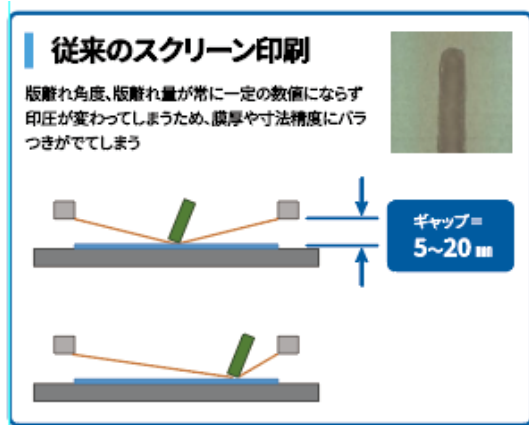


・PE事業) 自動化要求に対応した「印刷機+自動化ライン」提案の強化

- 電子部品/PKG基板の生産設備として全自動印刷機及びFA技術を駆使した自動化提案を強化
 - PKG基板向け：真空印刷+マテハン付き全自動ライン
 - 微細積層コンデンサ向け：ギャップレスR2Rスクリーン印刷機+省スペース乾燥機ライン

・PE事業) 事業体制の強化とPE要素技術開発センターの開設

- 要素技術開発から製造、販売まで一体となったマネジメント体制に強化
- 台湾(KTW)、北米(KAC)での販売体制整備
- プリントテクノロジーを活用したオープンイノベーション拠点としてつくばプラント内にPE要素技術開発センターを開設



03

ESG(SDGs)対応 社会・環境への取り組み

持続可能な社会の実現にむけた取り組み

持続可能な環境・社会の実現

- **エコプロダクツ**
 - CO2発生量削減
- **エコファクトリー**
 - 太陽光発電設備導入
 - 省エネ型空調用熱源機更新
- **エココミュニケーション**
 - 環境負荷低減活動の研修プログラム提供



環境

KOMORIエコビジョン2030

2021年3月期にて
基準年比CO2排出量
36%削減と中間目標達成

2011年3月期
(基準年)

2021年3月期
2011年3月期比
CO2排出量 30%削減

2031年3月期
2011年3月期比
CO2排出量 50%削減

ESG経営

- 日経SDGs経営調査総合偏差値向上への取り組み
- 統合報告書
- TCFD情報開示



社会



ガバナンス

社員エンゲージメントの向上

- **KOMORI流働き方改革**
 - 長時間労働の改善
 - 労働意欲と能力を高める教育・人事制度
 - ダイバーシティの推進
- **サプライヤーとのパートナーシップ**
 - グリーン調達
- **地域社会との共生**
 - KOMORI陸上部

ステークホルダーの期待に応えるコーポレートガバナンス

- 経営の透明性の確保
- 経営の意思決定の迅速化
- 経営のチェック機能強化
- コンプライアンスの確保
- リスクマネジメントの強化

◆気候変動関連の情報開示

- ・TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）



⇒2022年5月賛同表明

⇒2023年3月「ガバナンス」「リスク管理」「戦略「指標と目標」の情報開示

- ・CDP質問書回答



⇒GHG排出量、削減目標及び取組み状況に関する情報開示

◆KOMORI流動き方改革



- ・健康優良法人2023（大規模法人部門）に2年連続で認定

長期ビジョン

KOMORI 2030



Contents

目次

- 1 KOMORIの目指す未来について
- 2 長期ビジョン “KOMORI 2030”
- 3 各事業の取り組み

01

KOMORIの目指す未来について

感動企業の実現



創業期

成長期

飛躍期

変革期

1923年創業

1950年

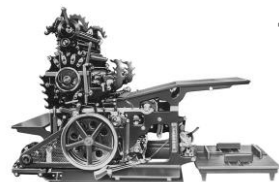
1980年

2010年

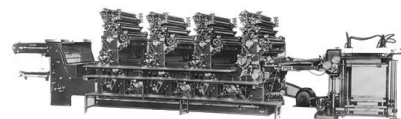
2023年



1925年
石版ロール印刷機



1928年
手差オフセット印刷機



1957年
4色オフセット印刷機「UM-4C」

1958年
日本初の紙幣印刷機

1969年
オフセット枚葉印刷機「スプリント」



1981年
オフセット枚葉印刷機「リスロン40」



1990年
完全自動版交換装置

2015年
インクジェット印刷機「IS-29」



2012年
PE向けグラビアオフセット機
「PEPIO」



2020年
協働ロボット「MBO CoBo-stack」

2014年
セリア買収

2020年
MBO買収

技術

1956年
全自動高速オフセット機を北米に初輸出

1982年
米国に小森アメリカ設立

1998年
香港に現地法人設立

2018年
インドに現地法人設立

販売

1968年
海外の印刷機材展に初出展（シカゴ）

1988年
オランダに小森ヨーロッパ設立

2019年
中国現地法人拡充

製造

1967年
取手工場竣工

1978年
関宿工場竣工

1986年
小森マシナリー竣工（山形）

2009年
取手・関宿工場を
つくばプラントに集約

2022年
グローバルパーツセンター開設

プリントテクノロジーで
社会を支え感動をもたらす

KOMORIホームページにてご視聴ください。
(2023年5月23日 (火) 公開予定)

02

長期ビジョン KOMORI 2030

パーパス
プリントテクノロジーで社会を支え感動をもたらす

長期ビジョン KOMORI 2030

第6次中期経営計画
(2019/04 - 2024/03)

74期～78期

環境変化による修正

第7次中期経営計画
(2024/04 - 2027/03)

79期～81期

第8次中期経営計画
(2027/04 - 2030/03)

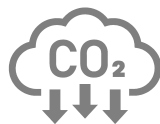
82期～84期

⚠ 社会課題/メガトレンド



環境破壊、廃棄物問題

- 省エネのニーズ拡大
- 必要なモノを必要な量だけ製造し環境負荷を低減
- マイクロプラ/化学物質/有害廃棄物処理/再利用可能材料拡大



脱炭素化

- カーボンニュートラルへの取り組み
- オゾン層の破壊/地球温暖化
- 自然エネルギーへの転換



デジタル化加速が生み出す社会インフラの変化

- EC市場拡大への対応
- 高度情報化社会と個人情報漏洩
- デジタル通貨・偽造品被害



グローバル社会の複雑化と多様化

- 先進地域の少子高齢化による労働力不足
- 単純労働の自動化による高付加価値労働へのシフト
- 地域により異なる価値観の広がり



KOMORIの役割

事業変革

1

環境負荷の低い
生産ソリューションの提供

2

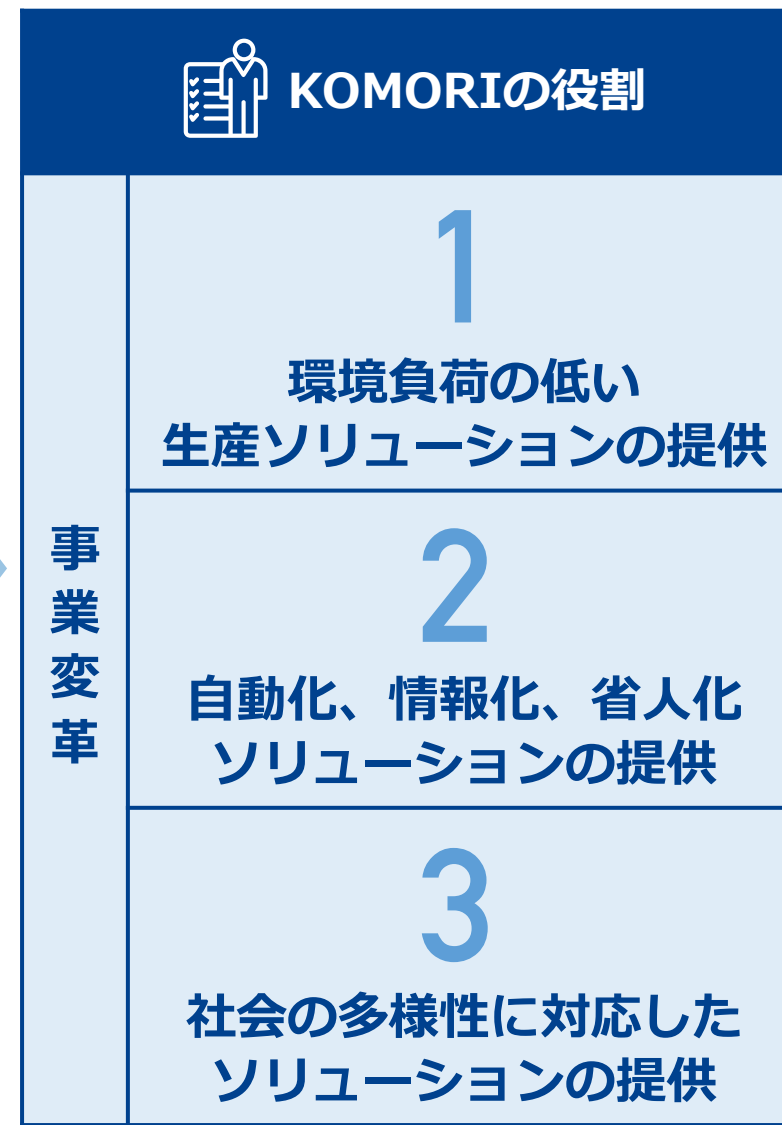
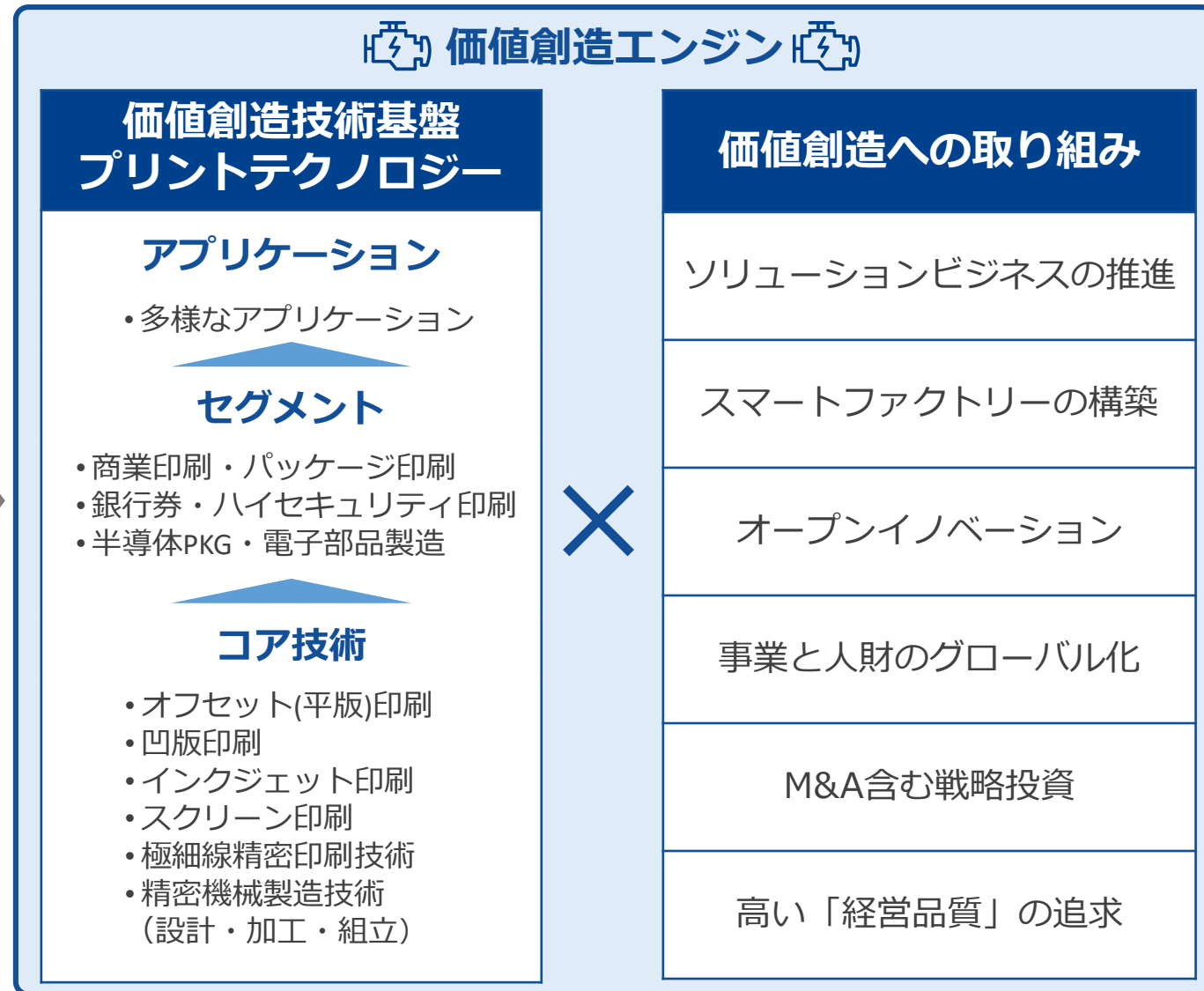
自動化、情報化、省人化
ソリューションの提供

3

社会の多様性に対応した
ソリューションの提供

プリントテクノロジーの SHINKA 深化・進化・真価 で情報・文化・経済を支え感動をもたらす

社会課題・メガトレンド



社会への貢献

事業活動で
SDGsへ貢献



企業活動で
SDGsへ貢献



“プリントテクノロジー”で社会課題を解決する事業を展開

プリントテクノロジーの革新

KOMORIの役割	
<p style="font-size: 2em;">1</p> <p>環境負荷の低い 生産ソリューションの提供</p>	
<p style="font-size: 2em;">2</p> <p>自動化、情報化、省人化 ソリューションの提供</p>	
<p style="font-size: 2em;">3</p> <p>社会の多様性に対応した ソリューションの提供</p>	

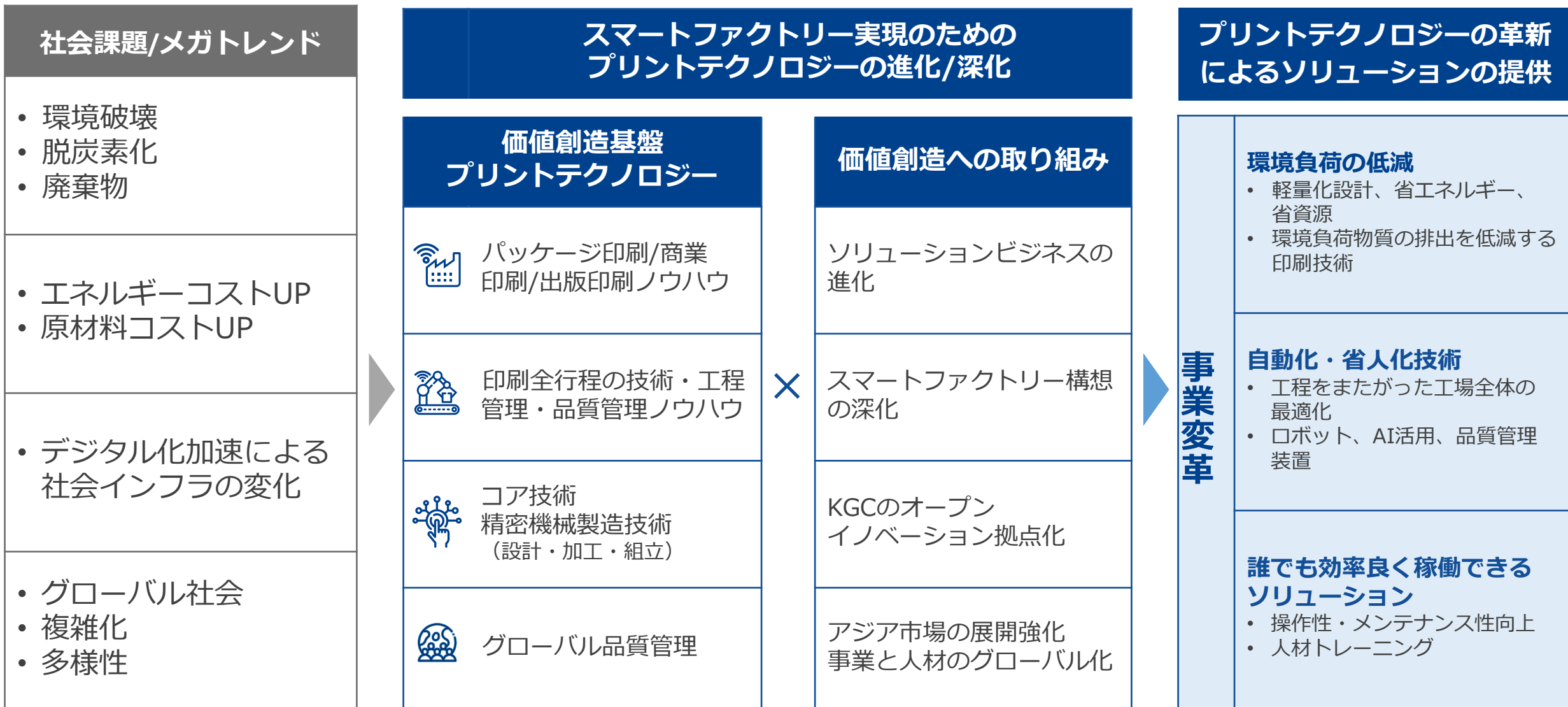
事業の方向性	
基盤事業	<p>オフセット事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 市場ニーズに対応した製品・サービスの提供 環境技術とロボット技術により、高い生産性を提供 保守製品を軸にした顧客支援を拡大
	<p>証券印刷事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様なアイデンティティを守ることに貢献するソリューションの提案 世界中の国々の多様なニーズへの対応
成長事業	<p>DPS事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 市場創造に向けた新規アプリケーション開発 製品価値の向上による他社との差別化、競争力の向上 デジタル印刷技術の活用による新領域への拡張
	<p>PE事業</p> <ul style="list-style-type: none"> PE領域向け製造ソリューションの開発 電子部品・半導体領域に向けた要素技術開発

03

2030に向けた事業ポートフォリオ **各事業の取り組み**



環境に優しく誰でも・安全に稼働できるスマートファクトリーの実現に貢献





「セキュリティープリントテクノロジー」で 全世界の個人、企業、国のアイデンティティを守ることに貢献

アイデンティティに関わる課題

国

偽造銀行券の流通

自国で銀行券印刷ができない

企業

偽造品の流通

独自技術の毀損

個人

個人情報改ざん

不平等な労働環境

セキュリティープリントテクノロジーの進化

価値創造基盤 セキュリティープリントテクノロジー

- 極細線印刷
- 凹版印刷
- 番号印刷

- プロセスコンビネーション技術

- 高精度見当技術

- インライン印刷品質検査技術
- 特殊原反印刷品質検査技術

価値創造への取り組み

- ソリューションビジネスの進化

- 差別化提案での入札

- KGC-Sにおける次世代技術開発

- 多様性に対応した商品開発

プリントテクノロジーの革新によるソリューションの提供

銀行券印刷 ソリューションの提供

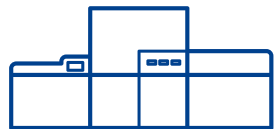
- 銀行券製造の生産性向上
- 偽造防止技術開発
- LTV※1の最大化
- TCO※2の最小化
- SDGsへの貢献（人・国の平等）

ハイセキュリティー印刷 ソリューションの提供

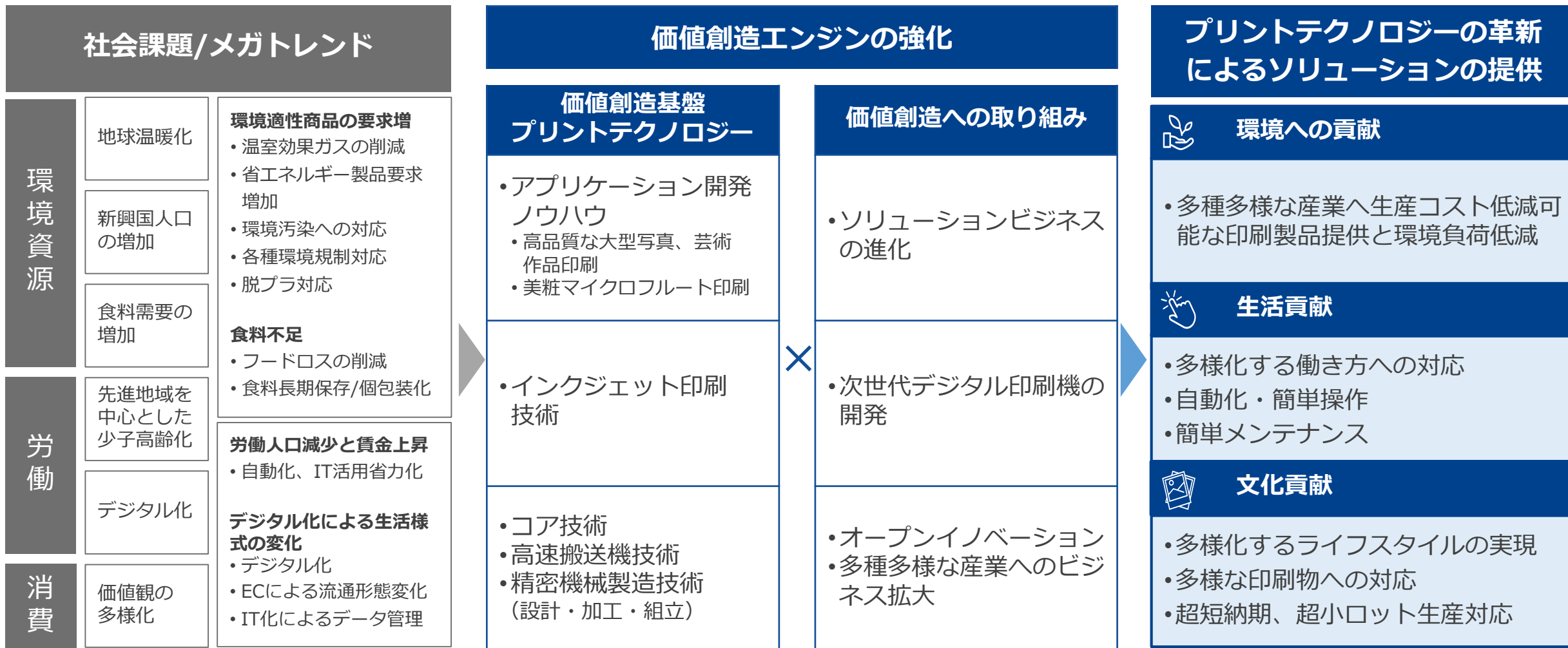
- 印刷品質検査技術によるセキュリティー印刷の信頼性向上
- デジタル印刷技術とセキュリティー印刷技術を掛け合わせた新技術開発

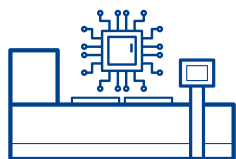
※1：LTV（ライフ・タイム・バリュー）

※2：TCO（トータル・コスト・オーナーシップ）

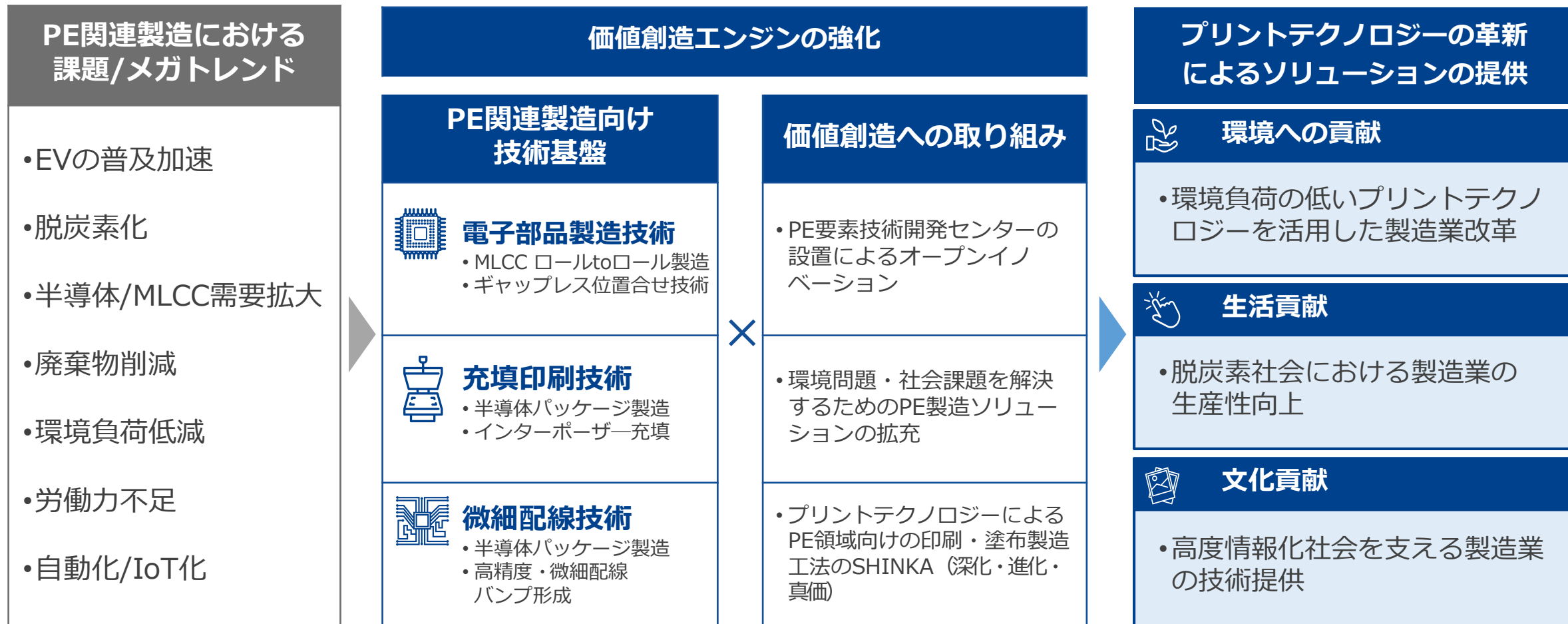


デジタル印刷機の特徴を活かし低炭素社会の発展へ貢献





「プリントテクノロジー」と「自動化・FA技術」を活用し環境に配慮した ものづくりの生産性向上と社会生活のサステナビリティに貢献



プリントテクノロジーで
社会を支え感動をもたらす



- ※ 当資料に含まれている業績予想等は、本資料の現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり
実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。
- ※ 当資料では表示未満単位を四捨五入して表示しており、内訳と合計が一致しない場合があります。